

「第二回国語対策協議会速記録（第一日）」翻字

解説

「第二回国語対策協議会速記録（第一日）」は、一九四一年の日本語普及に関する文部省側の記録である。これは、言語政策史・日本語教育史の資料として貴重なものでありながら、従来の研究では散逸したとされていたものである。

ここで紹介する翻字は、当時、文部省図書局国語課図書監修官であった釘本久春（一九〇八～一九六八）が手控えとして残し、現在、釘本春良氏によって保管されているものに依っている。
この翻字は、すでに、斎藤達哉・鈴木泰・氏原基余司「資料紹介」釘本久春所持資料―「第二回国語対策協議会速記録（第一日）」及び「日本語教科用図書調査会会議報告」―（『専修大学人文科学研究所月報』二七九号、一〇八〇頁、専修大学人文科学研究所、二〇一五年一二月）として発表したものを再構成したものである。

（書誌事項）

「第二回国語対策協議会議事速記録 第一号」

用箋…神楽坂山田紙店製原稿用紙、黄色罫、二〇〇字詰（二

五字×八行）、B5判

本文…黒インク手書き（午前は升目に比して小さい文字で一画一画を丁寧に記すが、午後は早書きされている。朱筆での訂正入り）

装丁…天の二箇所を紙縫りで綴じる

紙数…一九四枚（表紙一枚、午前の部一三九枚（ノンブル1～

141。うち、66、106は番号が抜けているが内

容に欠落はない）、午後の部五三枚（ノンブル1～53）、

遊紙一枚

（翻字方針）

翻字は、次の方針で行った。

（1）原資料群では、漢字の旧字と新字とが混在しているが、本翻字では原則として、新字に統一した。ただし、氏名・固有名は、旧字のままに残した。

（2）原資料群には誤字・脱字と思われる箇所が見られるが、本翻字では訂正をせずに右側に「ママ」と書き添えた。

（3）原資料では、空白にして右側に傍線が付され、かつ「？」記号が添えられている箇所が見られる。本翻字でもそのままの状態を再現した。

（4）原資料では、朱筆等で訂正されている箇所が多く見られる。

本翻字では訂正後のものを採用した。

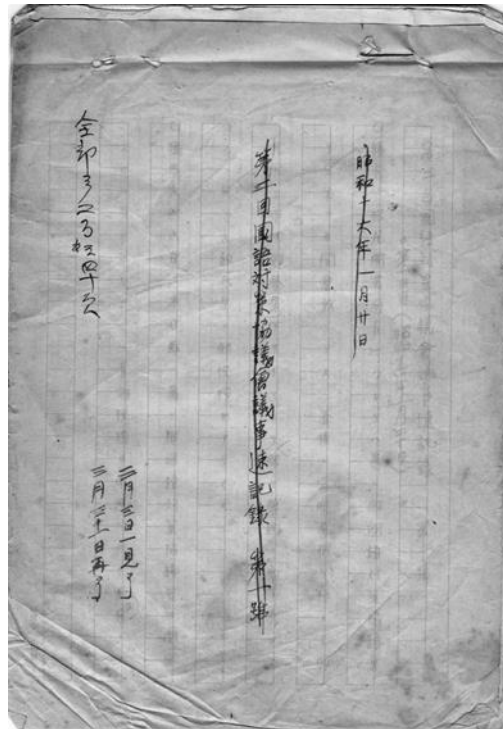
（5）原資料の原稿用紙には、通し番号（ノンブル）が書き込まれ

ている（午前の部は左下、午後の部は右上にノンブル）。本翻字中では、ノンブルを「」に入れた上で各ページの最後の文字の直後に表示した。

（6）必要に応じて注を付した。

翻字

〔表紙〕



昭和十六年十月廿日

第十二回 国語対策協議会議事速記録 第一号₁

全部三二頁本文四十頁

三月三十一日一見了
三月三十一日再了

〔本文〕



第二回国語対策協議会議事速記録 第一号

○第一日目（昭和十六年一月二十日）

○議長（松尾図書局長）² ソレデハ第二回国語対策協議会ヲ唯今ヨリ開会致シマス。各位ニハ時局柄、極メテ才忙シイナカ御参集下サイマシテ、深く感謝ノ意ヲ表シマス。唯今文部大臣ノ御挨拶ガアリマス。

○橋田文部大臣³ 本日茲ニ第二回国語対策協議会ヲ開催スルニ当リマシテ、一言御挨拶ヲ申シ述べタイト存ジマス。〔001〕本省ニ於

キマシテハ昭和十四年六月、第一回国語対策協議会ヲ開キ多数関係者ノ御参集ヲ得マシテ御協議ヲ願ヒマシタトコロ、ソノ成果顧ルベキモノガアリマシタノニ鑑ミマシテ、茲ニ第二回国語対策協議会ヲ開催スルコトニ致シマシタ。ツキマシテハ滿洲国政府、華北政務委員会、中華民國国民政府、蒙古聯合自治政府⁴、興亜院各連絡部、関東局、朝鮮・台湾両総督府、南洋庁ソノ他関係諸官庁ニ対シマシテ、当該関係官並ニ〔002〕實際教育家ノ派遣方ヲ請ヒマシタトコロ、幸ニシテカク多数ノ御参集ヲ得、又学界カラモ權威者ノ御参加ヲ得マシタコトハ私ノ最モ欣快トスルトコロデアリマシテ、深甚ノ謝意ヲ表スルモノデアリマス。

惟フニ国語ハ国民精神ノ宿ル所デアリ、国民精神モ亦国語ニヨツテ培ハレルノデアリマスカラ、日本語ノ海外進出ハ即チ日本精神ノ進出ニ外ナラナイノデアリマシテ、八紘一宇ノ大理想ニ基ク東亜ノ新秩序建設ハ日〔003〕本語ノ普及ニ俟ツトコロ頗ル大ナルモノガアルト信ズルノデアリマス。本省ニ於キマシテハ、一昨年来日本語教科書ノ編纂ニ着手シ、又昨年十一月国語課ヲ新設シテ国語ノ整理統一ニ努メル所以モコ、ニ存スルノデアリマス。ツキマシテハ本日ヨリ開カレマスコノ協議会ニ於キマシテ、各位ノ詳細ナル御報告ヲ承リ、又隔意ノナイ御意見ノ開陳ヲ願ツテ十分ナ協議ヲ遂ゲルコトガ出来マスレバ幸デアリマス。〔004〕

尚、各位ノ御参集ノコノ機会ヲ利用シテ、御協議ヲ願ヒタイ儀ガアリマス。ソレハ昨年十一月、日華両国関係ノ基本条約ガ締結セラ

レ、又日滿華三国ノ共同宣言ガ發セラレマシタコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、元來、東亜共榮圈ノ確立ハソノ根本ニ於テコノ目的ニ即応スル教育ノ普及徹底ヲ図ラナケレバナライノデアリマス。従ツテ教育ノ根本方針ニ關スル各地相互ノ理解ト協力トハ最モ緊要ナル事項ト考ヘルノデアリマス。茲〔005〕ニカ、ル問題ニ關シテモ御意見ノ交換ガ行ハレルコトヲ希望スル次第デアリマス。

各位ニ於カレマシテハ右ノ趣旨ヲ御諒承ノ上、十分協議ヲ遂ゲラレマシテ帝國ノ重要ナ国策ノ遂行ニ御協力アランコトヲ切望シテ已マヌ次第デアリマス。コレヲ以テ御挨拶ト致シマス。

○議長（松尾図書局長） ソレデハ引続キマシテ御手許ニ配布シテアリマス日程表⁵ニ依ツテ進メタイト思ヒマス。〔006〕日程ノ次ニハ説明事項ト致シマシテ「本省ニ於ケル国語対策ノ根本方針」ニツイテ私ヨリ御説明申上ゲルコトニナツテ居リマス。一通リ意ノアルトコロヲ申上ゲマシテ引続キ日程ヲ進メタイト存ジマス。

本省ニ於キマシテ採ツテ居リマス国語対策ノ根本方針ハ、コレヲ要約シテ申上ゲマスト、内ニアツテハ国語ノ醇化統一ヲ図ツテ国民精神ノ復興ニ資スルト共ニ新〔007〕日本文化建設ノ地盤ヲ固メ、外ニアツテハ東亜共榮圈ニ醇正ナル日本語ヲ普及シテ東亜新秩序建設ノ根本ニ培フトイフ点ニアルノデアリマス。申スマデモナク国語ノ醇化統一ヲ行フニ当リマシテハ、国語ヲ尊重シ愛護スル思想ガ根本ニナラナケレバナライノデアリマス。国語ニハ我が国民ノ精神ガ、唯今大臣ノ仰セニナリマシタヤウニ傳統的ニ宿ツテ居リマス。

言ヒ換ヘマスト、国語ハ我が国民ノ血液ト申スコトガ出来〔008〕ルノデアリマス。従ツテ一面ニ於キマシテハソノ純潔ヲ保持致シマスト共ニ他面ニ於キマシテハ優生学的ニコレガ改良ヲ図ラナケレバナライト思フノデアリマス。ツマリ国語ノ愛護尊重ノ根本義ハ醇正ナル国語ヲ守リタテテ行クトコトニアルノデアリマス。ソシテ醇正ナル国語ヲ守リタテテ行クタメニハ、国民一般ノ国語ニ対スル自覚ガソノ基礎トナラナケレバナリマセン。真ニ国語ニ目覚メ、静カニ国語ヲ反省致シマス〔009〕トキ今日ノ国語ハ話ス方面ニセヨ書ク方面ニセヨ、即チ音声言語ニシテモ文字言語ニシテモ、可成リ混乱ヲ生ジテ居リマス。マタ無統制デアアルノヲ辞ム訳ニハ行カナイノデアリマス。ソコデ国語ノ醇正ヲ護リタテ、行クタメニハ、コノ混雜無統制ナ今日ノ国語ノ整理統制ニ力ヲ致サナケレバナライノデアリマス。

次ニ国語ヲ醇化統一スルニ当リマシテ第二ニ考ヘナケレバナライコトハ単ナル便宜主義、或ハ単ナル伝統〔010〕主義ニ捉ハレルコトナク、国語ノ歴史的現実ヲハツキリ認識スルノガ最モ大切デアリマス。国語ノ伝統ヲ無視シタ浮薄ナ便宜主義ハ極力排除シナケレバナリマセント共ニ、ソレト同時ニ国語ノ生々發展ニ目ヲ蓋フテ何ンデモ彼デモ旧キニ抛ラナケレバナライトスル固陋褊狭ナ傳統主義モ亦清算サレナケレバナライト思ヒマス。

申スマデモナク現在ノ国語ハ過去ノ傳統的ナ国語ニ依〔011〕ツテ必然的ニ制約サレテ居リマスガ、然シ同時ニ未來ニ於ケル新ナル

生々發展ノ可能性ヲモ藏シテ居ルノデアリマシテ、コレガ国語ノ歴史の現実デアリマス。

過去・現在・未来ノ三世ノ一貫性ハ他ノイズレノ国々ヨリモ我が国ニ於キマシテハ強ク考ヘラレテ居リマス。

伝統的殊ニソノ精神的ナモノヲ勉メテ尊重スル思想ハ日本人ニトツテ殊ニ大切デアリマス。従ツテ国語ノ整理統制ノ基準ヲ歴史的・伝統的ナ国語ノ本質ニ〔012〕求メルコトニツキマシテハ恐ラク異論ノナイコトト信ジテ居リマスガ、コノ基準ニ抛リツ、現実ヲ見ツメテ明日ヘノ發展ヲ十分考慮シテ、改良スベキモノハ改良ヲ加ヘテユク覚悟ガ肝要デアリマス。ツマリ伝統主義ノ下ニ立ツテ国語国字ヲ簡易化シ、平易化シツツ醇化統一ノ実ヲ挙ゲルコトヲ忘レテハナラナイト思フノデアリマス。

トコロデ以上述べマシタヨウナ方針ナリ態度ナリヲ基準ト〔013〕シテ国語ノ醇化統一ヲ行フニツキマシテハ、先ヅ何ヨリモ必要ナノハ有力ナ機関デアリマス。コノコトハ第一回ノコノ会ニ参加セラレマシタ各位モ痛感サレマシテ「国語ノ調査統一機関設置ノ件」ヲ希望決議サレタノデアリマス。マタ一昨年七月ニ開カレマシタ国語教育学会ノ總會ニ於テモコノコトガ決議答申サレタノデアリマス。固ヨリ本省ニ於キマシテモソノ必要性ヲ痛感致シテ居リマシタノデ、鋭意コレガ実現ニ努力シ既ニ〔014〕御承知ノ通り昨年十一月末ニ本局内ニ国語課ノ新設ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス。予算ノ関係等モアリマシテ、ソノ機構ハマダ充分トハ申セマセンガ今後一段ト

ソノ拡充強化ヲ図ル考ヘデアリマス。

新設ノ国語課ニ於キマシテハ先程申述べマシタ国語ノ歴史の現実ヲ十分認識致シマシテ国語ノ伝統ヲ尊重スルト共ニ新時代ノ趨勢ヲ洞察致シマシテ複雑多岐ナ国語問題ノ解決ニ邁進スル心算デアリマス。ソシテ学〔015〕術的調査研究ニ立脚シテ進ムコトハ勿論デアリマスガ常ニ實際ヲモ考慮ニ入レテ行ク考ヘデアリマス。要スルニ学問上カラシマシテモ、實際上カラシマシテモ無理ノナイ解決ニ到達スルヤウ念願シテキル次第デアリマス。

斯様ニ国語ノ調査研究ヲ前提トシ地盤トシテ、コレヲ整理統一シ、ソノ整理統一サレタモノヲ国内ニ於テ実行スルト共ニ、国外ニ普及サセルコトニナツテ〔016〕始メテ国内ノ国語教育ノ基礎ハ確立シ、同時ニ国外ノ日本語教育モ正シイ方向ガ与ヘラレ、真ノ意味ノ内外一如ノ実ヲ挙ゲルコトガ出来ルノデアリマス。

然シナガラ国語ノ醇化統一並ニ対外普及事業ハ口デハ簡単ニ申セマスガ中々容易ナ業デアリマセン。コレヲ完遂スルタメニハ挙国一致ノ努力ガ必要デアリマス。取分ケ、国語学者、国文学者、言語学者ノ御協力ハ申スマデ〔017〕モナク諸官庁・教育界・操觚界・大政翼賛会・放送局等ノ御協力ガ一段ト必要デアリマス。官民朝野内外アゲテ協心戮力シテコソ始メテ所期ノ目的ハ達セラレルノデアリマス。国家ノタメニ、東亜新秩序建設ノタメニ本省ノ方針ヲ御諒承下サイマシテ御協力アランコトヲ切望致ス次第デアリマス。

以上甚ダ簡単デアリマスガ本省ト致シマシテノ根本方針ニツイテ

一応申上ゲタヤウナ次第デアリマス。続イテ〔1018〕直チニ日程ニ入リタイト思ヒマス。本日ノ題目ハ各地ニ於ケル日本語普及ノ状況ニ関スル件⁶デアリマス。甚ダ失礼デハアリマスガ、朝鮮・台湾・関事局トイフヤウニ順序ヲ定メマシタカラ、ソノ順序デ御発表願ヒタイト思フノデアリマス。本日中ニ本問題ニ関スル御発表ヲ頂キマシテ引続キ質疑応答ヲ願ツテ午後三時ニ本日ノ予定ヲ終リタイト思ヒマス。ツキマシテハ御一人二十分以内ノコトト御記憶ノ上、普ク〔1019〕御発表ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。ツイデニ申上ゲテ置キマスガ、雑誌ニ御関係アル方モ御見エニナルヤウデアリマスガ、御発表ノ中ニハ機密事項ニ亘ルコトガアルト思ヒマスカラ、問題ヲ起スヤウナコトガアツテハ甚ダ困リマスノデ、記事等ニ会議ノ御発表事項ヲ才載セニナルコトハ差控ヘテ戴キタイト思ヒマス。甚ダ失礼デアリマスガ一言申シ添ヘル次第デアリマス。ソレデハ朝鮮総督府ニ御発表ヲ御願ヒ致シマス。〔1020〕



〇一六番 (島田牛稚君) 朝鮮ハ施制後既三十二年ヲ迎ヘテキルノデアリマシテ、従ヒマシテ日本語ノ教育ヲスルノデナク、今日デハ国語ノ教育ヲ致シテ居ル訳デアリマス。コノ施制後三十年間ニ日本語ヲ国語トシテ教養致シマシタ結果ガドウイフ今日状況ニナツテキルカヲ申上ゲマスノガ、将来ノ第二第三ノ朝鮮ノタメニ或ハ多少ノゴ参考ニナルカト思ヒマス。コ、ニ持合セマシタ印刷物ヲ資料ト致シマシテ申上ゲ〔1021〕タイト思ヒマス。

朝鮮ニ於ケル国語教育ノ位置ハ極メテ重大ナ意義ヲモツテキルノデ、今日朝鮮ノ教育ニ於キマシテハ忠良ナ皇国民育成ノタメニ国語教育ノ主体目的トナツテ居リマス。コノ皇国民育成ノタメニ国語教育ノ徹底ガ、特ニ国民精神作興ノ立場ト国体觀念ヲ明徴ニ致シマス上

ニ切実ナ必要ヲ感ズルバカリデナク、内鮮一体ノ教育理想ニ到達致シマ〔022〕スタメニ最モ国語ノ普及ガ大切デアリマシテ、将来朝鮮ノ人達ノ国民トシテノ帝国ノ要素ト致シマシテモ国語ノ普及ハ極メテ必要デアリマス。従ヒマシテコレラ教育ニツイテハ施制後最モ力ヲ注イデキルトコロデアリマス。大体力ノ入レ方ニ二ツノ方面ガアリマス。

一ツハ学校教育ノ立場デアリマス。今日マデ朝鮮二千四百万ノ民衆ニツイテ国語ヲ日用シ、国語ニ依ツテ〔023〕生活ヲ律スルモノガ僅カニ一割五、六分ニシカ達シナイ状態デアリマスカラ、カウイフ状態ノ朝鮮デハ国語ハ社会教育ニ関スル部面ガ多イデアリマスカラ、然シナガラ、ソノ根底基礎ハ学校デアリマスカラ、特ニ基礎的教育トシテ小学校教育ニ最モ力ヲ致シテ居リマス。然シナガラ家庭生活ガ国語生活ヲシテ居リマセンノデ、学齢期ニ到達シテ小学校ニ入学シテ、ソコデ始メテ国語ヲ学ブモノガ大〔024〕多数デアリマス。従ツテ国語教育ノ出発ハ最モ大切ナモノデアリマス。コレニ対応致シマスタメニ従来小学校ノ幼学年デハ、朝鮮総督府ニ於テ特別ニ教科書ヲ編纂致シマシテ、大体文部省ノ学校生活用語ヲ文字ヲ通シテデナク修得出来ル手段方法ヲ講ズルタメニ特殊性ヲ加味シテ施設トシテ総督府デ編纂シタ幼学年用教科書ガアルノデアリマス。而シテ最モ国語ニ近ジキ易イヤウニ仮名遣ノ如キモ発音記号〔025〕ニ依リ、標音記号ニ依ル形式ニ依ツテ、今日デハ三年マデソノ形式ヲ採ツテ、四年カラ文部省ノ発行スル教科書ニ統一致シテ居リマス。

ソノ年間ニ於ケル基礎教育ハ相当大切ト考ヘ内地人小学校教員ヲコレニ充ルコトニシテ直接法ノ教育ニ依ツテ早く国語ニ親シマシメルコトニナリ一学期モヤリマスナラバ、学校生活要綱ヲ修得致シマスバカリ〔026〕デナク教授上何等差支ナイマデニ国語ヲ修得致ス実情デアリマシテ、洵ニソノ進歩ノ大キイノニ驚イテキル次第デアリマス。

然シナガラソノ印刷物三頁ヲゴ覧願ヒタイ。ソノ三頁ノトコロノ京城府内ノ漢洞小学校ノ表ニ見マスヤウニ学校ト致シマシテハ非常ナ努力ヲ払ヒマシテ、昭和十一年ヲ出発点ニソノ凶線デゴ覧願ヘルヤウニ学校ニ於ケル国語使用ガ或〔027〕ハ家庭ニ及シマシテ、国語普及上カラ見テ充分デナクトモ僅カニ二三年ノ努力デ相当成功ヲ収メテキルコトヲゴ覧願ヘルト思フノデアリマシテ、今日ノ学校教育デハ国語ノ生活モノノ家庭ノ国語生活マデ学校教育ノ力アラシメタイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、然シナガラソレハ非常ニ家庭ノ掣肘ガ大キイ点ハ第二頁ヲゴ覧願ヒタイト思ヒマス。第一例トシテ校洞小学校・漢洞小学校・鐘岩小学校ノ例〔028〕ヲ挙ゲテ置キマシタガ、一番初メノ校洞小学校ハ京城ノ中心部ノ所謂良家ノ子女・富豪階級ノ学校、漢洞小学校ハ中産階級ノ学校、鐘岩小学校ハ労働者階級ノ学校デ、コノ三ツノ調査デゴ覧願ヒマスト分リマス。家庭ノ普及状況ハ学校教育デ努力ヲ払ツテモ、結果ニ於テハ、コノノパアセンタージデゴ覧願ヒマスヤウニ著シイ差隔ガ三ツノ学校ニツイテ行ハレテキルノデアリマス。唯単ニ子供ノ小学校教育ダケデナク家

庭・社会〔029〕ニ国語普及ノ色々ナ条件ガ加ツテ来ルコトガコレ
 ラノ参考デオ分リト思ヒマス。然シナガラ学校ハ学校ノ指導ニトド
 メズニ国家ノ為ニ国語ノ普及ヲ出来ルダケ早クシテ、朝鮮二千四百
 万人達ニ国語ヲ普及シテ真ニ皇国臣民ニシタトテ涙グマシイ努力
 ヲ教育者ハ捧ゲテキルノデアリマス。

学校教育ト合セマシテ広く国語ヲ普及スル為ニ努力ガ払ハレテ居
 リマス。ソレハ二頁ニアル時局対応全鮮思想〔030〕報國聯盟主催
 国語講習会デアリマス。コノ思想報國聯盟ハ思想問題ニ触レタ刑余
 ノ人達ヲ以テ組織サレタ団体デスガ、皇國ノ為ニ何カ努力致シタイ
 トイフノデ国語普及ノ為ニ自ラ起ツテ国語教育ヲシテ居リマス。ソ
 ノ結果カラ致シマスレバ僅カナ人達ニ及ボス方針ナノデスガ、国語
 普及ノ一ツノ実例トシテ掲ゲテ居リマス。

第一頁デゴ覽願ヒマシヤウニ總督府自体ト致シマシテ〔031〕モ、
 ナルベク早く国語ヲ普及致シマス為ニ年々七万円ノ費用ヲ当テマシ
 テ年々三十万人ノ人ヲ対象ト致シマシテ二箇月間グラヒノ講習会ヲ
 開イテ居リマス。コレハ全ク日本語ヲ解セザル朝鮮ノ一般青年・壯
 年・老年ヲ対象トスル方針デゴザキマス。月ノ冴エマシタ晩、学校
 ノ校庭ニマデ溢レル程、沢山ノ朝鮮人ガ子供ヤ孫ニ手ヲ引カレテ三
 々五々集ル人ガ校庭ニ満チ満チテ居リマス。月ノ明ルイ晩ニ「君ガ
 代」ヲ歌ツテ皇国臣民ノ誓ヲ〔032〕シテ国語教育ヲ受ケテキル状
 態デアリマス。コレラハ相当朝鮮ノ人達ニ国語普及ニ力アルモノト
 考ヘテ居リマス。或ハラヂオノ如キモ朝鮮ニハ一部放送ト二部放送

トガアリマシテ、二部放送ハ京城放送局ガスベテプログラムヲ作り
 朝鮮ノ文化開拓ニ当ツテ居リマスガ、二部放送ニ国語講座ヲ設ケテ
 毎日九時以後ニ一般大衆ニ国語普及ニ努力シテ戴イテキルノデアリ
 マス。カクノ如ク総テヲ挙ゲテ国語普及ニ尽力致シ〔033〕ス居リ
 マスモノノ、實際ノ国語ノ効果ハ施制三十年ノ今日デモ未ダ一般ニ
 普及出来ナイ。長イ長イ朝鮮文化ノ歴史ヤ朝鮮語ニ親シミヲ感じテ
 キルノヲ見マシテモ、コノ国語対策上、新シイ言葉ヲ扶植スル困難
 サ、長ク染込ンダモノヲ取除ク困難サハ、容易ナラヌモノデ、コチ
 ラハ一生懸命デアルモノ、コレヲ強要シテモ目的ヲ達スルモノデ
 ナク、寧ロ余リニソノ功ヲ急ク為ニ却ツテ終局ノ目的ヲ達〔034〕
 成出来ナイト考ヘマス。当局ハ決シテ功ヲ急グ訳デアリマセンガ、
 学校教育ニ国語ヲ使フノガ真ノ皇国臣民ノ責任デアルトイフ強烈ナ
 國家觀念ヲ基礎ニモツテ、ソノ意識カラ朝鮮人全体ニ及ボシタイ考
 ヘデ、先刻来申上ゲルヤウニ学校教育ニ最モ力ヲ入レテキルノデア
 リマス。

四頁ヲゴ覽願ヒマス。コレハ朝鮮總督府ノ社会課ノ調査デスガ、
 約十年間ニ亘ル〔035〕国語ノ普及状況、社会情勢ヲ表ハシテ居リ
 マス。昭和五年六十二人、六年七十人、七年七十一人、八年七十六
 人、九年八十三人、十年九十二人、十一年百五人、十二年百二十人、
 十三年百三十九人、十四年百五十八人ト十年間ニ二倍半ニナツテ居
 リマス。二倍半ト言ヘバ非常ニ多数ノヤウニ考ヘラレマスガ、コレ
 程ノ努力ニ依ツテモ猶二倍半ニシカ及バナイトハ情無イト思フノデ

アリマス。会話ニ差支ナイモノト稍々解シ得ルモ〔036〕ノトデ一割三、四分ノ率シカ収メ得ナイノデアリマス。ソノ他ハ今日猶朝鮮ノ言葉ヲ用ヒテキルト申シテ差支ナイノデ、シカシソノ後ノ統計ハハツキリシマセンタメニ色々調査者・報告者ニ依ツテ違フガソノ結果ニ割方ヲ出ルカト思ハレルガ、統計ニ依ツテ悲觀スルモノデハアリマセンケレドモ、然シナガラ数字デ表ハセバ施制後政府ノ努力ガ今モツテ一割四分グラヒシカ社会大衆ニ向カツテ国語普及力ハアリマセン。学校教育モ〔037〕数学的ニ表シテ居リマセンカラ、学生生徒児童ノ使用率ヲ加ヘルト、固ヨリコノ率ヨリ多クナルトゴ承知願ヒタイト思ヒマス。

ナホ国語ヲ尊重シマス意味カラ特ニ中等学校ノ入学試験モ国語ヲ入学資格トシテキルコトハ入学試験法ノ一手段ト見ルヨリモ国語ノ重要性ヲ意識セシメル一ツノ手段カト思ツテ居リマス。師範学校卒業資格デ国語ノ堪能者デアルコトヲ一ツノ〔038〕条件ニシテキルノハ、ソノモノノ及ボス永久的普及効果ヲ期待スルカラデアリマス。中等学校・専門学校・大学ノ学生ニツキマシテハ今日ノ実状カラミマスレバ基礎的の小学教育カラ正規ノ国語教育ヲ起シテ居リマスカラ、内地人ニ国語ニツイテ修得致シテ居リマスガ、然シナガラ、時ニハ、ソレラ国語ヲ知ラヌモノデナク真ニ国語ヲ知ルモノガ今モツテ国語ヲ使用シナイ場合ノアルコトハ考ヘナケレバナラナイ〔039〕重大問題デアリマス。コレハ特別ニ親シミ馴染ンダ愛著ト親シミヲ籠メル意味合ラシイコトモアリマセウケレドモ、一方コレヲ考ヘマスタナ

ラバ、第一ソノ底ヲ流レル民族意識ガ何時ノ間ニカモトノ言葉ニ親シミヲ感ズル結果ニアルノデ、コレハ国語問題デナク思想問題デアルト思フノデアリマス。コノ点ヲ考ヘマスタ外地ノ国語生活ハ生活ノ利便ノミデナク、ソノ底ヲ流レル〔040〕人間ノ思想、根柢ニ起ル思想問題ヲ考ヘナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス。兎ニ角以上申上ゲマシタヤウナ実情デ外地ノ国語教育ハ国民生活ノ基礎ヲ作ルノニ重要ナ意義ヲモツモノデアリマスカラ特ニ必要性ヲ感ズルノデアリマス。朝鮮ノ言葉デ「君ガ代」ヲ歌ツテモ、「海ユカバミヅク屍山ユカバ草ムス屍大君ノ辺ニコソ死ナメカヘリミハセジ」ト歌ツテモ朝鮮語ナラバ国民感情ハ誘發サレ〔041〕ナイト思フ。何処マデモ国語ヲ通シテノミ真ノ国民一体ノ正シイ道ヲ解ラセラレルト思フノデアリマス。従ツテサウイフ立場、要求カラ致シマスナラバ、ソノコトニ最モ便益ヲ感ズル国語普及ニ関スル希望ヲ申上ゲルモノデアリマス。従ツテ明日以後ノ会議ニ於テ以上申上ゲタ立場カラ進メタイト思ヒマス。大様以上ノ如クデアリマス。

○議長（松尾図書局長） 有難ウゴザイマシタ。ゴ質疑ガ〔042〕アルカト思ヒマスガ、ソレハ午後ニ致シマシテ、次ニ台湾総督府ニ才願ヒ致シマス。

○十九番（加藤春城君） コノ問題ニ就キマシテハ、第一回ノ本会議デ大体ノ状況ヲ報告致シテオキマシタカラ、今回ハ簡單ニ要点ダケ申述ベテオキタイト思ヒマス。然シ語ノ順序トシテ多少重複ノアル点ハオ許シ願ヒタイト思ヒマス。台湾総督府文教局社会課ノ調査

デハ、昭和十四年四月末現在ノ台湾ニ〔043〕於ケル国語ノ解ル者ノ数ハ二百四十五万八千四百六十人ニナツテ居リマス。全人口ノ四十六パーセント弱デアリマス。ゴク大雑把ニ申上ゲマスト、台湾人ノ約半数ハ国語ガ解ル訳デス。コノ内訳ハ学校ノ在學生ト学校ノ卒業生ノ累計、国語普及施設即チ国語講習所・簡易国語講習所ノ生徒及ビ修了者ノ累計デアリマス。コレヲ国語ノ理解程度カラ申シマスト、ゴク簡單ナ日常ノ挨拶用語、普通ノ物ノ名〔044〕前グラヒヲ知ツテ居ルモノカラ、内地人ト少シモ変リナイ程度ニ話シ得ル程度ノモノヲ含ンデキルノデアリマス。今コレヲノ国語会話、国語ヲ實際ニ使用シテ居リマス状況ヲナルベク具体的ニ申上ゲテミタイト思ヒマス。

第一ハ公学校ノ児童デアリマスガ、コレハ入学当初カラ国語ヲ使ハナケレバナラナイモノ、台湾語ヲ使ツテハナラナイモノ、トイフ風ニ訓練ヲツケルノデアリマス。然シ始メハ国語ダケデハ用ヲナシマセンノデ〔045〕児童相互ノ間ニハ台湾語ヲ用ヒマスガ、第二学期・第三学期ニ進ムニツレテ台湾語ノ使用ハ非常ニ減少シテ、第三学期ニナルト不完全ナガラ、ドウニカ国語デ挨拶スルヤウニナリマシテ、二年生ニナリマス台湾語ハ学校内デハ少クトモ使フモノハアリマセン。尚、一年二年アタリノ子供ガ国語ヲ使ツテ居リマス実状即チ、第二議題⁷ニツキマシテハ、私ノ方カラ出席シテ居ラレル實際ニ教育〔046〕ニ従事シテキル諸君カラ詳細ニ説明ガアル筈デアリマス。二年以上ノ子供ガ学校内デ無意識ニ台湾語ヲ使用シマス

ト、誰レハ台湾語ヲ使ヒマシタトイフテ互ニ警告ヲ発シテキル状況デアリマス。三年以上ニナリマス児童仲間デハドンナ場合デモ概ネ国語ヲ用ヒテ居リマス。ソレニツイテ私ガ度々見聞シテ居リマス一例ヲ申述ベタイト思ヒマス。台湾各地ノ公学校デ台北ニ修学旅行デ児童ガヤツテ参リマス。ソ〔047〕レヲハ泊掛ケデ来ルノデアリマス。大抵五年以上ノ子供デアリマス。勿論コレヲノ児童ハ国語デ自由ニ日常用務ヲ弁ゼラレマス。コレ等ノ児童ハ街デ買物ヲシテキルトキ国語ヲ使ツテ居リマス。コレハ多勢ノナカデアアルカラ意識シテ国語ヲ使フトイフコトモ一応考ヘラレマス。トコロガ夜間自由散歩ヲ許サレマシテ三々五々外出致シマス。公園ノ隅デ余リ人通りノナイ所デ遊ンデ居タリ椅子ニ腰掛ケテ話〔048〕合ツテキタリスル仲間ダケノ別ニ気兼ねヲスルコトハ要ラナイノデアリマスガ矢張り国語デ話シテ居リマス。私ハ公園ノ直グ近クニ住居シテ居リマスノデ屢々コノ実況ヲ見聞致シマス。尤モ彼等ノ国語ヲ聞キマスと、台湾語ノヤウニ聞エルコトガアリマス。ソレハ国語ガ自然ニ台湾語ノ語調ヤアクセントニ惹付ケラレテキルタメデアリマス。然シ兎ニ角聞キマスと全部国語デ話シテキ〔049〕ルノデアリマス。公学校ノ在学ノ児童ガ斯様ナ有様デスカラ、卒業生ノ国語ハ先ヅ確カナモノトイツテヨイノデアリマス。上級ノ学校ニ進学スルモノデモ、又ハ会社銀行デ内地人ニ屢々接触スル業務ニ従事スルモノハ勿論、ソノ他ノ者デ田舎ニキテ農業ニ従事シテ居リマスモノデ、青年同志ガ青年訓練所、青年教修所デ一緒ノ課程ノ教育ヲ受ケ、又ハ団員トシ

テ訓練サレマシタモノハ益々〔050〕国語ガ上達シテクルノデアリマス。山間僻地ニ住居シテ居リマスモノデ比較的国語ヲ用ヒル機会ノ少ナイ最モ悪イ条件ノ下ニ居リマスモノデモ、何年経ツテモ日常ノ用務ヲ弁ゼラレナイ程、退化スルモノデアリマセン。

次ニ社会教育ニ於ケル国語普及施設ノ方デアリマスガ、コレハ国語講習所ガ主トナツテ居リマス。コレハ公立ノ特殊教育施設トイフ総督〔051〕府令ニ基イテ、各州・各庁ニ州令ヲ施行シテ、ソレガ主体トナツテ経営シテキルモノデアリマス。コノ国語講習所ノ入所資格ハ、公学校ノ教育ヲ受ケナイモノ、国語ヲ解サナイモノデ、年齢ガ十二歳以上二十五歳以下マデデ、修学年限ハ一年乃至四年デ、一年ノ授業日数ハ百日以上ト規定シテ居リマス。国語ガ主デアリマスガ、算術・唱歌・遊戯・作法・家事・裁縫等モ教ヘテヨイトナツテ居リマス。コレラノ課目ヲ教〔052〕ヘマスノハ、国語ヲ念頭ニ置イテ教ヘマスノデ、国語ダケヲヤルヨリモ色々ノ課目ヲ教ヘル方ガ興味ガ伴ヒ実益ガアリ、国語ノ方カライフト成績ガヨイヤウデアリマス。昭和十四年五月末マデノ調べデ、国語講習所ノ数ハ六千三百八十八箇所、生徒数ハ三十八万七千三百四十八人、専任講師ガ四千七百六十九人、学校ノ教師等ノ兼任スルモノガ六千六百六十四人ニナツテ居リマス。国語講習所ト大体同ジ目的・同ジ〔053〕組織デアリマスガ、ソレヨリモツト簡単ナノガアリマス。簡易国語講習所トイフテ居リマス。入所資格ハ国語講習所ト同様デアリマス。開期ガ三箇月、六箇月ノ速成的ナモノニナツテ居リマス。昭和十四年

三月ノ調べニ依ルト、ソノ所数ハ八千七百三十八箇所デ、折返し折返し設ケテ行キマスカラ延ベノ数デアリマス。生徒数ハ五万四千三百十三人ニナツテ居リマス。コレラノ講習所ハ前二述ベマシタ〔054〕国語講習所、簡易講習所ヲ終了シマスト、ゴク程度ノ低イ卑近ナ会話ガ出来マス。二年以上ノ講習所ヲ終了シタモノハ公学校ノ卒業生ニ負ケナイ程話シ得ルモノガアリマス。終了年限ノ割合ニハ国語ガ上手ニナリマス。ソレト申シマスノハ公学校デハ学年相当ノ内容ヲヤラナケレバナナイガ、講習所ノ方ハ比較的軽クナツテ居リマシテ、日常会話ノ修練ニ主力ヲ注ゲルカラデアリマス。講習所ノ生徒ノ年〔055〕齡ハ先程申シマシタヤウニ、大体十二歳以上二十五歳以下ト規定シテオリマス。三十歳、四十歳ノ婦人ガ乳呑児ヲ抱ヘテ来テキルノモアリ、又五十歳、六十歳ノ老人ガ出テキルノモ見マス。田舎ニ参リマスト昼間ヤリマス。婦人ヤ老人ガ若イ者ニ混ツテ国語ヲ習ツテキルトコロヲ見マスと、心カラ涙グマシクナルコトガ屢々デゴザイマス。殊ニ内地カラ、又ハ他ノ外地カラオ出デニナツタ方ガ、サウイフ〔056〕トコロヲゴ覧ニナリマスと、感想ヲ洩ラシテオイデニナルヤウデアリマス。コノ他、学齡ニ達シナイ幼児ニ国語ヲ教ヘル幼児国語講習所ノ施設ガアリマス。コレハ保育院ノ保母同様デアリマスガ、国語使用ヲ中心ニシテキルノデアリマス。コレハ近年ノ施設デアリマス。段々殖エテ参リマシテ全島四、五百ニ達シテ居リマス。

次ニ国語奨励ノ施設デアリマスガ、国語演習会トイ〔057〕フモ

ノガアリマシテ、台湾教育会デ年々催シテ居リマス。コレハ公学校ノ在学ノ生徒・卒業生、国語講習所生徒・卒業生、青年団員ヲ選抜シテ、国語ニ依ツテ所感ヲ発表サセタリ唱歌ヲヤラセタリ、劇ヲヤラセタリ、コヽニ出演スルモノヲ始メ群集ガ選抜シテ出スノデアリマスカラ国語ノ有力ナ宣伝デアリマス。国語演習会デ成績ガヨケレバ国語成績ノ最高峯ヲ占メルコトニナツテ居ルノデアリマス。次ニハ台湾ノ青少年ニラヂオ〔058〕放送ヲサシテ居リマシテ、国語演説ヲシテ優勝者ニ愛語賞トイフメタルヲ授ケテ居リマス。毎年紀元節ニハ総督府デ国語普及功勞者ノ表彰ヲヤツテ居リマス。コレハ毎年十数名アリマス。以上ノ他ニ国語常用家庭ノ認定ヲヤツテ居リマス。コレハソレゾレ規定ヲ設ケテ各州各庁デヤツテ居リマス。大体ハ家庭全体ガ国語ヲ理解シ且常用シテ居ル。又日常生活全般ニ亘ツテ日本国民ニ相応シイ暮シ方ヲシテキルニ点ヲ目標トシテ、視学・学校長等〔059〕ニヨツテ構成サレマシタ会デ、一定ノ時期ニ厳密ニ考查シタ上デ認定スルノデアリマス。国語常用家庭トイウ札ヲ与ヘマシテ、ソレヲ門標ノ側ニ掛ケテ置クヤウニシテ居リマス。コノ国語常用家庭ノ家族ニ対シマシテハ色々ナ特典ヲ与ヘテ居リマス。時間ガ迫ツテ居リマスノデコノ点ハ略シマスガ、兎ニ角特典ヲ与ヘテ奨励シテ居リマス。

台湾ニ於ケル国語普及ノ実状ハ大略ソノヤウデアリマス。総督府トシテハ国語ヲ全部ノ島民ニ及ボスコト〔060〕ヲ終局ノ目標トシテ居マス。今日既ニ半数近クノ国語解者ガオリマスガ、コレラガ国

語デ間ニ合フ場合ニモ猶台湾語ヲ使用スルヤウナ者ガ少クアリマセン。親シイ青年同志デ話合フ場合ナドデアリマスガ、ソレヲ指導シテ国語ヲ用ヒサセルコトハ今後特ニ重大事デアリマス。国語解者ノ数ヲ殖スト同時ニ国語ヲ常用サセルコトニモ力ヲ致スベキ時期ニナツテキルト思ヒマス。四十六パアセントノ国語解者ヲ作ルノニ五十年ノ歳月ヲ費〔061〕シテ居リマス。今後国語ノ不解者ヲ一掃スルニハ五十年カ、ルダラウト一応考ヘラレルノデアリマスガ、コレカラノ進ミ方ハモツト速クナルト思ハレルノデアリマス。ソレハ教育施設ダケデナク社会一般ノ国語力ニ押含マレルトコロガ多イデアラウト思ツテ居ルノデアリマス。コレハ過去四十六年ヲ振り返ツテ見マスト、前半、後半ノ進ミ方ガ違ヒマス。最近十箇年ノ進歩ハ大変ナモノデアリマス。結局今後ノ国語ノ普及〔062〕及ハ加速度的ニ非常ニ進ミ方ガ早クナツテクルト思ヒマス。今日デハ一般民衆デモ国語ヲ習ツテ居レバ得ニナルトカ、習ツテ居ナイト損ニナルトカ利害觀念ガ進ンデ、日本国民トシテ国語ハ誰デモ習ハナケレバナライトヲ考ヘテ宣伝シテ居リマス。田舎ノ方デモ相当徹底シテ居リマス。教ヘル立場トシテモ実用ノタメニ宣伝シマシテ、コレニ依ツテ皇国民ノ練成ヲ図ルコトニ重点ヲ置イテ来タノデアリ〔063〕マス。近ク台湾ニモ義務制ガ布カレマス。社会教育ノ方デモ普及施設ノ拡充強化ヲシテ參ルコトニナツテ居リマス。国語不解者ヲ一掃致シマスノニ余リ長年月ヲ要シナイノデハナイカト考ヘマス。全島民ガ国語ヲ常用スルヤウニナル日ヲ期待スルノハ不可能デハナイト確信シテ

キル次第デアリマス。

○議長（松尾図書局長） 有難ウゴザイマシタ。次ハ関〔064〕東局ニ才願ヒシマス。

○二十三番（大塚正明君） 私ハ関東局在満編修課ノモノデアリマス。主トシテ教科用ノ図書ヲ編纂シテ居リマス。日語普及事業ニ関シマシテ、第一満人ノ教育施設ノ上カラ、第二ニハ満人用ノ日本語教科書ノ上カラ、第三ニハ日本語ノ修得セル状況ノ上カラ、ノ以上三点カラ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス。

第一ノ教育施設ニツキマシテ、唯今プリント。ヲオ廻シ致シマシタガ全体ニ〔065〕行キ渡ラナイト思ヒマスガ、ソレヲゴ覽願ヒタイト思ヒマス。初等教育ニ於ケル公学堂ハ関東局ガ経営シテ居リマス。都会地ニ設置シテ居リマス。内地ノ村ニ当ルモノデ、ソノ経営ニ依ルモノモアリ主ニ村落ノ子弟ガ参リマス。四年ノ修業年限デ、ソノ他ニ補習科ノ設ケラレテキルトコロガアリマス。中等教育機関ノ中デ高等学校ト申シマスノハ男子ノ中等部・師範部ト分レテ居リマシテ、師範部ニハ女子モ居リ、男子ト〔067〕共ニ公学堂・普通公学堂ノ教員トナルモノヲ養成シテキルノデアリマス。女子高等学校ハ錦州ニ一昨年設ケラレマシタ。官公立ノ実業学校ノ他ニ私立学校ガアリマス。学校表ノトコロニ示シテ置キマシタ。次ニ専門学校トシテ旅順工科大学ガアリマシテ、特ニ満人ノタメニ予備課ガ一年設ケラレテ居リマス。尚、関東一州内ニ□□□□。トイフノガアリマシテ、表ノ終リニアリマスガ、古クカラ伝ハツタ支那在来ノ私塾デ

アリマス。州内ニ於〔068〕イテ極メテ不完全ナ読方、算術等ノ満人子弟ノ教育ヲ担当シテ居リマシタガ、大正十一年ニ規則ガ出来マシテ今日生徒三百人以上ノ、マサニ一学校ノ体裁ヲ備ヘルモノガ殖エテ居リマス。先生ハ全部満人デアリマス。兎ニ角、内地小学校ニ準ズルモノ四百五十以上ゴザイマス。ソノ中デ満人ノタメニ三六〇ヲ数ヘルトイフ聖代ノ御恩沢トハ申シナガラ有難イ次第デアリマス。関東州ノ教育ノ歴史ハ明治三十七年十二月、日露ノ戦〔069〕以来、在任支那人ニ対スル教育施設ヲ始メテカラ三十六年、今日、公学堂・普通公学堂ダケデモ千八百六十、就学率六十パーセントノ普及状態デアリマス。コレヲ教育機関ニ於キマシテ日本語教授ノ時間ハ、才手許ノ表デゴ覽願ヒマス。

モシコレダケ徹底スルナラア、イフ困難ナ諸問題ハ起リ得ナイノデアリマス。尚、日本人トノ教育問題デアリマス。満人ヲ以テ一等級ヲ組織サレテキル〔070〕訳デアリマス。成績ノ良イモノハ官公立ノ中等学校ニ入学ヲ許サレテ居リマス。進メルヤウニナツテ居リマスコトハ先程申上ゲタ通りデアリマス。コレ等ノ満人ハ日本語ヲ以テ大シタ遜色ナク日滿共学ヲ実現シテ居リマス。学校関係ノ他ニ満人ノ大衆ヲ相手トシテ関東州デ昨年来日語講習所ヲ州内ノ公学堂ニ付設サレテ、八、九、十ノ三箇月ノ講習ガアリマス。満人ノ店員トカボオイトカラ、一学級五十人見当ニシテ約〔071〕二時間教ヘテ居リマス。五十校ヲ目標トシテ、期間ヲ六箇月ニ延長スルコトガアリマス。同ジク矢張り地方課ニ満人少年講習所ガ設ケラレテ、公

学堂ノ生徒ト同等ノ学力ノアルモノヲ五十人見当ニシテ一箇月ノ講習デアリマス。満人青年ニ関東人トシテノ教養ヲ与ヘルノデアリマス。日本語ノ練成ニナルノデアリマス。本年カラ学務課ノ手ニデ行ハレルコトニナリマシタ。普通日語講習会ヲ敷設致シマシテ満人ニ〔072〕一箇月間ノ講習ヲシテ居リマス。ソノ他日語ヲ教ヘル塾モアリマス。ラジオニ依ル日本語講座モ見逃セナイ有カモノデアリマス。日本語ノ検定試験ガアリエ等カラ五等マデノ等級ガツケラレ、コレラハ登録サレテ居リマシテ、イザトイフトキノ動員計画ガ樹テラレテキルト聞イテ居リマス。ソレカラ日本語奨励資金ガアリマス。

第二ノ日本語読本ノ中カラ普及状態ヲ申上ゲマス。〔073〕吾々ノ編集部ハ十九年ノ歴史ヲモツテキテ発行図書ハ百十九種、百三十万部ニ及ンデ居リマス。オ手許ノプリントニ示シテアリマス。初等ノ読本四冊、中等四冊、高等八冊、ソノ他ニ日本語法トカ、仮名遣法トカ、教授参考書等ガアリマシテ、例ヘバ「公学堂生徒用」、「普通公学堂生徒用」、「中等学校生徒用」、「速成日本語」、「速成日本語」トハ私立ノ学校用デモ、官衛ヤ各会社等ノ日語個人用デモ、速成的ナ一般用デモアリマス。初等、中等、高等ノ日本語教科書ハ、国語検定ノ標〔074〕準トナリ、又満鉄トカ満洲国特殊会社ノ採用標準ハ初等教科書ヲ標準ニシテキルヤウデス。「生徒用日本語」ハ十万余部配給シ、「速成日本語」ハ十三万八千五百部ヲ示シテ居リマス。関東州内ハ勿論、北支方面ニマデ及ンデ居リマス。配給ノ実数ヲ年統計的二見マス、表ニ表ハシタヤウナ数字ニナツテ居リマシ

テ、コ、ニ面白イ現象ヲ見ルコトガ出来ルノデアリマス。「速成日本語」ハ僅カニ二百部シカ出ナイ哀レナ状態デアツテ、〔075〕千部刷ツテオケバ四年間ニ合ツタ状態デアツタノガ、満洲事変後ハ二千部刷ツテモ十日ト経タズニ出テ行ク。五千部アツテモ十日トナイトイフ風ニドンドン増加シテ、ソノ後モ配給数ハ減少シテ居リマセン。「速成日本語」ハ民間カラモ出テ居リマス。「新選日本語」ノハ一万部出テ居リマス。関東州内ノ横綱デアラウト思ヒマス。民間側カラモ「日本語学習書」ガ出テ居リ、コレハ初歩ノ満人用トシテ出テ居リ〔076〕マス。「日本語」トイフ雑誌モ出テ居リマス。コレ等ノ状況カラ見マシテ日本語ノ普及ヲ窺ヘルト思フノデアリマス。

最後ニ日本語ヲ修得シタ満人ノ状況デアリマス。就学ノ時期ニ達シテ居ルモノガ十六万アリマスガ、学校ノ収容量ハ半分ノ八万デアリマス。満人間ノ日本語熱ハ非常ニ盛ンニナツテ居リマス。最近ノ実例デアリマスガ、旅順ノ警防団デ、費用ハ吾々〔077〕ガ負担スルカラ日本語普及ニ一学校ヲ増シテ戴キタイト申シ出テ居リマス。

公学堂、普通公学堂ノ卒業生ノ状態ハオ手許ノ表ヲゴ覧願ヒマス。中等学校ニ進ムモノヤ各地ニ於テ実務ニ就イテキルモノヤガ居リマス。今マデ卒業シタ何万トイフ先輩ト共ニ大陸ニ発展シテ居リマス。満洲ノ現在ノ大臣ニモ関東州デ日本語教育ヲ受ケタクトノアル人ガアリマス。満人官吏ニ採用サレテ居ルモノノ中ニハ関東州デ教育ヲ受ケテ〔078〕居ルモノモアリマス。日本語ガ出来ルコトハ必須ナ条件トナツテ居リマス。関東州ノ満人教育ハマサニ大陸開拓ノ人的

拠点デアリマス。日本語ノ拠点ハ新東亜建設ノ鍵デアルト申シテモ高言デナイト思フノデアリマス。吾々ハ日本語教育ヲ以テ、安価ナ実用主義ニ陥ラズ日本精神ヲ体得シ、日本ヲ枢軸トスル精神的ナ結合ヲ図ラウトシテ居リマス。朝鮮ヤ台湾ハ帝国ノ国土デアル点カラモ教育ノ〔079〕目標ハ非常ニハツキリ確立シテ居リマスガ、関東州ノ三十年ノ歴史ヲモツテ居リナガラ成績ノ挙ツテ居ラナイノハ残念デアリマス。モウ一ツ残念ナノハ日本人教員ガ公学堂、普通公学堂ヲ通シテ僅カ百八十六名シカ居ナイコトデ、他ハ満人デアリマス。日本人教員ガ十六パーセントシカ居ナイトハ朝鮮・台湾ニ比ベテ余リニ貧弱デアリマス。コレラノ満人ノ日本語ニ対スル教養ノ程度ニシテモ、ドノ程度〔080〕ノモノカラ考ヘマストキ、関東州内ニ於キマシテノ日本語教育ノ問題ハ教員ノ問題デアリマス。大体以上申上ゲマシテ普及状態ノ報告ト致シマス。

○議長（松尾図書局長） 有難ウゴザイマス。次ニ南洋庁ニ願ヒマス。南洋庁ガ見エナイヤウデスカラ満洲国ニ才願ヒ致シマス。

○二十七番（今井栄君） 第一回ノ本会議ノ折、満洲国ノ日本語ノ普及状態ヲ詳シクゴ報告シテ〔081〕アリマスノデ速記録ニツイテ才読ミ戴キタイト思ヒマス。本日ハソレ以後ノ今マデノ発達普及状態ハドウデアアルカヲ主トシテ申上ゲマス。満洲国ガ建国セラレマシテ本年デ九年目デアリマス。学校教育ハ義務教育制度ヲ採ツテ居リマス。就学率ハ四六パーセントデ今年ハ七十パーセントニ上ゲヨウト努力シテ居リマス。満洲国ハ複合民族ノ国デアリマス。日系、満

系、露系、蒙古系等ガアリマスガ、満系デモ露系デモ〔082〕蒙古系デモ日本語ヲ国語トシテ居リマス。日系ノ子弟教育ハ全部在満日本大使館ニアリマス教務部デ取扱ツテ居リマス。満洲国政府トシテハ、満系、蒙系、露系及ビ半島出身ノ日系ニ対シテヤツテ居リマス。現在学校ガドレ位アルカハオ手許ニ刷物ヲ差上ゲマシタ。日系ノ教員ハ非常ニ少ナイデアリマス。都会地ニハ多イガ、地方ニ行クト一ツノ県ニ一人シカキナイ実情デ甚ダ遺憾デアリマス。〔083〕尚、今日ドウイフ方法ヲ採ツテキルカニツイテハ松尾編審官カラ申上ゲマス。

○二十八番（松尾茂君） 満洲国ノ普及状況ヲ簡單ニ申上ゲマス。満洲ハ唯今、今井編審官カラ申上ゲマシタヤウニ建国九年目ヲ迎ヘタバカリデアリマス。九年目ヲ迎ヘタ満洲国ノ日本語ノ普及状況ヲ申上ゲマス。発表要項ヲオ手許ニ差上ゲマシタガ、先ヅ第一ニ日本語ハ満洲国ノ国語デアルトヲオ話シタイ〔084〕ト思ヒマス。満洲国ニ於テハ各種民族ガ集ツテ国ヲ成シテ居リマスタメニ、ソノ使フ言葉ガ各種デアリマス。ソレヲ日本語ニ依ツテ統一シヨウト考ヘテ日本語ヲ国語トシタノデアリマス。建国精神ニ基イテ、或ハ国本宣言詔書、君臣詔書ニ御訓ヘニナツタ日滿一体不可分關係ヲ体得スルタメニ日本語ガ必要デアリマス。日本語ヲ国語トシテ、日本ノ国体ノ尊厳サヲ教ヘ、日本精神ヲ教ヘ、日本文化ヲ知ラセタイ〔085〕考ヘカラ、日本語ヲ国語トシテ、各民族ニ必ズ日本語ヲコレカラ後、授ケテ行カウトイフ考ヘデアリマス。

日本語教育ニ從ツテキル私達ニ非常ニ感激深イコトハ、滿洲国皇帝陛下ノ二度目ノ御訪日ノ際ニ、建国神廟ニ天照大神ヲ奉祀ナサレ、告文ヲ奏上ナサレタトキ、日本語ト滿洲語トテ奏上ナサレ、同日、国本宣言詔書ヲ四千万ノ国民ニ御降シニナリマシタガ日滿両文デ書カレ〔086〕デアリマス。吾々日本語教育ニ携ハルモノニトツテ洵ニ有難イ極ミデアリマス。

次ニ日本語普及ニ努メテキルカヲ先ヅ学校ニ於ケル日本語ノ教育狀況ト社会ニ於ケル日本語ノ普及狀況ニ分ケテオ話しタイト思ヒマス。第一ニ教科書ノコトヲ申上ゲマスト、初等学校デハ、国民優級学校ト国民学校トニ分ケテ唯今ノ日本ノ学校ニ較ベマスト、国民学校ハ尋常小学〔087〕校、国民優級学校ハ高等科デアリマス。国民学校ハ四箇年デ「日本語国民読本」ヲ与へ、国民優級学校ハ二箇年間ニ「国民読本」四冊ヲ与へテ居リマス。中等学校ハ選定教科書ニナツテ居リマシタガ昨年カラ全部国定ニ改メマシテ編審部デ編集シテ居リマス。各学年ニ冊ヅツ与へテ居リマス。

ソノ次ニ教授書デアリマスガ、教授書ハ今マデ何モナカツタノデアリマス。ソレハ滿洲国ノ学校ニ先ヅ〔088〕教科書ヲ与へナケレバトイフノデ、ソチヲニ全力ヲ挙ゲテキタノデ教授書ガ遅レテ居リマス。昨年度中ニ四冊完成シマシタ。今年中ハ国民学校全部ノ教授書ヲ完成シテ普及ニ勉メタイト思ツテ居リマス。教授書ノ方ハ、ソノ通り先生ガ話し、教師ト児童ト話合ヒスルト先ヅ目的ヲ達成サレルトイフヤウニ非常ニ細カナトコロマデ挙ゲテ懇切丁寧ニ示シテ纏

メタイト考ヘテソレニ從ツテ居リマス。〔089〕
 教授時数ハ国民学校、国民優級学校ヲ通ジテ、一週間ニ六時間乃至八時間ニナツテ居リマシテ、各学年、六、六、七、八、八、八トイフ風ニナツテ居リマス。中等学校ハ六時間乃至八時間デアリマス。各民族ノ母国語ト、ソレカラ日本語ヲ必ず学ブコトニナツテ居リマス。

次ニ教師ノ問題デアリマスガ、教師ハ日系トソレカラ滿系、或ハ蒙系、華系トナツテ居リマス。日本語ニ関シテハナントイフテモ日系ガ中心ニナツテ居リマス。〔090〕単ニ教室ニ於テ児童ニ教ヘルダケデナク、ソノ学校ノ教師ノ日語ノ力ヲ向上サセ、重要ナ役目ヲモツテ居リマス。日本語教授ノ困難ナ点ノ一ツハ教師ニソノ人ヲ得ナイコトデ、日系教師ヲナルベク多く用ヒテソノ教授上ノ困難ノ一ツヲ解決シタイト努力シテ居リマス。然シ日系ノ教師ハ先程モオ話しガアリマシタガ大變ニ少ナイノデアリマシテ、ナントカシテ滿洲ニ沢山ノ日系教師ヲ招キタイト營々努力中デ〔091〕アリマス。日系教師ハ中等学校卒業ノ人ヲ新京ニアル中央指導訓練所デ一年八箇月ノ年限デ養成シテ居リマス。滿系教師及ビソノ他民族ノ教師モ日本語教授ニ從ツテ居リマス。未ダ充分トハ云ヘマセン。各学校ニ学校檢定試験ノ三等以上ヲモツテキルモノハ可成リアリマスガ、ソノ人達ノ教授ヲ見ルト本當ニヨイトイフトコロマデ行ツテ居ラナイ。日本語ノ教授ニ從フ滿系教師ハ下手ナガラモ熱ヲモツテ從ツテキル状態デ〔092〕アリマス。

日本語ノ教育ガドフイフ風ニ行ハレテキルカトイフト、実状ノ例ヲ挙ゲテ二三申上ゲマス。新京ニ満系ノ二十歳グラヒノ女ノ先生ガ居リマス。一時間中、児童ニ一言ノ満語モ用ヒサセズニ日本語ダケデ教授シテ居リマス。満系ノ女ノ先生デアリマス。吾々編審官室ノモノガ手ヲ分ケテドウイフ風ニ教育ガ行ハレテキルカヲ見ルタメニ十一、十二月ニカケテ十組ニ分カレ [093] テ全国ニ出張致シマシタ。ソノ際ニ見聞シタノデアリマスガ、私ハ錦州省ノ田舎ノ方ニ参リマシテ、一城壁ノ壊レカ、ツタ中ニアル国民学校ニ行ツテ見マス。ト、満系ノ女ノ先生ガ日本語ヲ以テ児童達ト話合ツテ居リマシタ。ソノ日本語ハ子供ガ話ストキニ余リカヲ入レテ叫ブヤウニ聞エマス。河原女史ノ話デ有名ナ喀喇沁石旗王府ニ蒙系ノ中等学校デ崇教国民高等学校トイフノガ昨年五月ニ開カレマシタガ、日系ノ先生ガ蒙古ノ [094] 生徒五、六十名ト起居ヲ共ニシナガラ日本語教育ニ努力シテ居リマス。洵ニ感激シタ次第デアリマス。

学習時以外ニ於テ日本語ハドウイフ風ニ教育サレテキルカヲ一、ニ申上ゲマス。学校内ニ国語検定試験ヲ行ツテ階級ニ依ツテ表ハスヤウニシテ居リマス。学校内デ検定試験ヲヤツテ見テ、君ハ一等ダ二等ダト学校内デ資格ヲ与ヘテ居リマス。日本語ノ発表会、日本語学会ヲ年ニ二回三回 [095] 機会アル毎ニ行ツテ普及ニ努メテ居リマス。コノ為、四月ニ吾々編審官ハ満洲国語協会デ朗読コンクールヲ催スコトニナツテ居リマス。コレハ三分間以内デ放送局カラ放送シテ賞ヲ決メ日語普及ニ努メテ居リマス。

社会ニ於ケル日本語教育ノ状況ヲ簡單ニ申上ゲマス。コレハ先程関東局ノ方カラオ話ガアリマシタガ、大体ソレト同ジヤウニ各地ニ講習所ヲ設ケ満系ノ日 [096] 語指導ニ當ツテ居リマス。或ハ、中央地方ノ各官庁ニ於テ、官庁内デ日本語講習会ヲ日系ノ人ガ講師ニナツテ満系ノ人ニ教ヘテオリマス。編審官室デモ吾々ハ満語ヲ習ヒ、満人ハ日本語ヲ習ヒ、互ニ教ヘ合ツテ向上ニ努メテ居リマス。又、ラヂオニハ必ず日語講座ガアリマシテ日語ノ普及ニ努力シテ居リマス。ソノ次ニ雑誌書籍ノコトデアリマスガ、雑誌ノ方ハ色々ナ雑誌ガアリマスガ、先ヅ公ノモノトシテハ、満洲ノ帝国教育 [097] ノ建国教育ニ日語講座ヲ載セテ居リマス。

○議長（松尾図書局長） 有難ウゴザイマシタ。興亜院華北連絡部ニ才願ヒ致シマス。

○二十九番（辻田力君） 支那人各界ニ亘ツテ日本語ヲ普及シ言語ヲ通ジテ先方ニ対シテ我国ノ誠意ヲ知ラシメルト共ニ、日本精神及ビ我が国体ヲ深く認識セント東亜新秩序建設ノ強力ナ根幹ヲ培ヒ東洋文化ノ発展進化ニ資スルノハ国家ノ急務デアリ且 [098] 百年ノ大計デアリマス。コノ観点ニ於キマシテ華北連絡部ハ日本語普及ニ従事シテ居リマス。文化工作上重要ナ意義ヲ有スルモノデアリマス。先ヅ学校教育ニツイテ申上ゲマスナラバ、現在日本語ハ小学校第三学年以上ノ必須課目トシテ居リマス。 [099] 細ク申シマスナラバ毎週小学校三、四年ハ各々六十分、五、六年ハ九十分、中学校ハ三時間、北京大学ハ大体六時間乃至十二時間教ヘテ居リマス。コレ

ラノ学校ニ於ケル教科書ハ教育総署デ編集シタノヲ使用スル方針ノ下ニ一定ノ年次計画ヲモツテ邁進シツツアリマス。シカシテコレヲ教育ニ当ル教員ハ大部分支那人デアリマス。日本人ノ教員ハ三百余名デ着々実効ヲ挙ゲテ居リマス。大学等〔100〕ニ於キマシテハ日本語ノ専門学科ハ日本語ヲ以テ教授シテ居ル状況デアリマス。日本語ノミヲ教授スル日語学校トデハ治安回復ト共ニソノ数ヲ増シ、今日デハ百八十〔101〕余校、一万六千余名ヲ数ヘル状況デアリマス。社会教育方面ノ施設トシテハ、カヲ入レテキルモノハラゾデアリマス。ラヂオハ北京中央放送局デ朝二十分、夕方三十分日語講座ヲ設ケサセマシテ、ソノ聴取者ハ推定二万五千人ト数ヘラレテ居リマス。次ニ社会教育ノ方面トシマシテ昨年教育総署ニ於イテ主催スル日本語文化確立、検定制度ガ確立致シマシタ。第一ニハ試験ノ施行デアリ、更ニ日本人、支那人〔102〕ニ対シテ長期ノ講習会ヲ開クトカ、中学校、小学校ノ生徒、児童ニ日本語ニヨル学芸会、日本語ノ作文ノ募集等ヲヤツテ居リマス。然シナガラ日本語ノ普及ハ、相当文化ノ進ンダ支那人ヲ相手トスルノデスカラ、色々研究ヲ要スルノデアリマスガ、一層拍車ヲカケテヤラナケレバナライノデアリマス。ソシテ現地ニ於ケル権威者ヲ網羅シテ華北日本語普及協会ガ成立シテ居リマス。華北日本語普及協〔103〕会ハ北支ニ於テ中心指導機関ニナツテ居リマス。華北日本語普及協会ハ華北連絡部文化部ト関連シテ居リマス。第一ノ事業ハ日本語研究所・中央日本語学院ノ経営デ、前者ハ、日本語教育ニ於ケル調査研究指導ヲ致シマス

シ、中央日本語学院デハ一箇年ノ課程ニ於テ小学校又ハ中学校ノ日本語教員ヲ育テアゲルノデアリマス。尚、コノ華北連絡部ガ中心トナリ各使用主ニ於テ〔104〕中央日本語学校ヲ設立シ、地方ニピラミット型ノ組織ヲモチ、コノ中央日本語学校ガ地方ノ学校ト連係ヲモチ網ノ目ノヤウニシテ日本語教育ノ普及ニ尽シテ居リマス。尚、支那人ノ日本語教育研究修養団体トシテ最近興亜文化団体ノ成立ヲ見タノデアリマス。今後各主要地ニ成立予定ニナツテ居リマス。東亜教育会ガ成立致シマシテ既ニ北京、天津、山西〔105〕太原等ニアリマシタガ、尚、今後各地ニ教育会ガ成立シテ、日本人教員ニ於テ日本ノ教育ヲ研究修養ニ当リタイト思ツテキルノデアリマス。以上デアリマス。

○議長（松尾図書館長） 有難ウゴザイマシタ。次ニ華北連絡部青島出張所ニ才願ヒ致シマス。

○三十三番（岡田昌雄君） ゴ承知ノ通り青島ハ華北連絡部ノ出張所デアリマス。アラユル意味デ北支ニ準拠シ〔107〕テ色々ナ事業ヲ致シテ居リマス。ゴ承知ノ如ク大正三年カラ日本ガ青島ニ色々ナ意味デ関係シテ居リマスノデ、日本語ノ普及ノ点ニツキマシテモ、或程度青島デハ特殊ナ事情ガアリ得ル訳デ、ソノ点ヲ概略申シマスト、事変前ニモ或程度ノ日本語ノ普及ニ相当努力致シテ居タノデスカ、事変後ニ比ベマスト非常ニ以前ハ組織的デナカッタトイフ意味デ、日本語ノ教授法トイ〔108〕フモノニツイテモ余リ研究サレテ居ナカッタヤウデアリマス。事変後ノ日本語普及ノ状態ニツキマシ

テ概略ヲ申述べタイト思ヒマス。

青島ニ於ケル日本語ノ普及トシテ、学校ニ於ケル日本語教育ヲ小学校ヲ主ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス。青島ハゴ承知ノ如ク市区ト郊区ト二分レテ治安ノ関係カラ色々ナ大差ガゴザイマス。学校ノ普及状況ハ市区デハ大体ノトコロ七十パーセントカラ八十パーセントト、外市〔109〕区ニ於テハ四十パーセントカラ五十パーセント少ナイ。日本語ノ普及モソレニ準ジテ居リマス。小学校ニ於キマシテハ華北新民教育令ニ依リマシテ、小学校ハ辻田氏ヨリオ話ガアリマシタヤウニ三年、四年ハ六十分、五年、六年ハ九十分トナツテ居リマス。コノ小学校ノ日語教員ニツキマシテハ、日本人ノ先生ニ依ツテ直接指導シ教育シテ戴キタイト思ツテ居リマス。何分ニモ適當ナ人ヲ多数得ラレナイデ支那人〔110〕教員ガ主ニナツテ日本語教育ヲシテキル状態デアリマス。ソノ他第三国系ノ経営致シテ居リマス小学校デモ、或ハ日本会社又ハ国策会社関係ノ小学校、日本人ノ文化団体ノ小学校ガアリマスガ、コノ支那人ノ小学生ヲ主トシテコレハ日本人ノ教員ガ指導シテ居リマス。最近青島ダケノ試ミトシテ小学校ノ二年ニ日本語教育シテミタイ計画ヲモツテ居リマス。

次ニ中学校ノ日本語教育ノ状況ヲ申上ゲマス。中学〔111〕校ハ市内ニ市立五校、私立二校ゴザイマス。市立ハ男女共ニ毎週一時間乃至四時間教育致シテ居リマス。私立デ三時間ノ教育ヲ致シテ居リマス。特殊ノ学校トシテハ同文書院デハ毎週十二時間デアリマス。ソレデ中学校ノ方ハ原則トシテ日本人教員ヲ直接指導シテキル状況

デゴザイマス。師範学校ハ青島ハ唯今ゴザイマセンガ近ク設置サレル予定デアリマス。今ノトコロ臨時的ナ処置トシテノ教員臨時師範科ニ於キ〔112〕マシテモ一週十二時間課シテ居リマシテ日本語ノ普及徹底ニ資シテ居リマス。青島特別市デ日語学校ヲ男子二校、女子一校、合セテ三校経営シテ居リマス。中央学院ハ極力日語教育ヲ以テ日本語普及ニ任ジテ居リマス。ソノ他ノ学校ニ於ケル日語教育ト致シマシテ鳥渡申上ゲマス。中央学院敷設ノ日語専修科以外ニ日支共学ノ建前デ支那人学生ノタメニ予科ヲ設ケテ日本語ヲ二十四五時間課シテ、日本語ヲ覚エサセ、本〔113〕科ニ於テハ同様ニ日本學術教育ヲスル建前ヲモツテ居ル学校デアリマス。日華婦人会デ建テキル日華女学院デモ二時間乃至四時間ノ日語教育ヲヤツテ居リマス。青島デハ学校ニ日語教育関係時間ヲ置イテ居リマス関係上、教員ノ日語教育ニ注意ヲ致シテキルノデアリマス。各学校ニ派遣致シテ居リマス教育指導官或ハ日本語教員ノ方々ニ才願ヒシマシテ、昨年度学校ノ教職員ニ対シマシテ三箇月ノ日語講習ヲ才願ヒ〔114〕シマシタ。唯今第二回ノ日語講習ヲ実施中デアリマス。ソノ他、夏季ニモ日語講習会ヲ設ケルトカ春休ミニ講習会ヲ行フコトヲ考ヘテ居リマス。以上ガ学校ニ於ケル日語教育ノ概略デアリマス。社会教育方面デハ、青島特別市ノ各会社ノ支那人職員ニ、会社デ特別日本語講習会ヲ行ヒ、検定試験制度ヲ設ケテ特別語学手当ヲ出スコトデ日本語普及ノタメ研究シテキルヤウデアリマス。青島〔115〕市外デ日本語教育ヲスル私塾程度ノモノガアルヤウデアリ

マサガ、教授法等ニツイテハ正確ニ研究サレテ居ラナイヤウデアリマス。ソノ他新聞紙ニ日本語講座ヲ設ケルトカ、北京カラ中継ノラヂオノ日本語講座ヲ喜ンデ支那人ガ聴クトカ日本語ノ揭示場ヲ設ケルトカ、一般民衆ニ対スル日本語普及ヲ種々計画致シテ居リマス。ソレデ従前カラ或程度日本語ガ普及シテ居リマシタ關係上、現在市内デハバスニ乗ルニモ日〔116〕本語デ通ズル状態ニナツテ居リマス。先程華北連絡部カラオ話ガアリマシタ興亜教育会ハ青島ニモ設ケラレテ居リマスガ、日本語ノ普及、日本語教育ノ普及方面ニ非常ナ貢獻ヲシテ居リマシテ、昨年四月ニ小学校ノ日本語学会ヲ開催シテ戴キマシタ。日本語ノ作文ヲ募集シタリ致シマシテ、十一月ニハ中学校小学校ノ日本語ノ雄弁大会ヲ催シタリシテ学生ノ日本語修得熱ノ昂揚ニ資シテキルノデアリマス。又近ク日〔117〕本語再教育講習会ヲヤツテ戴クコトニ致シテ居リマス。先程鳥渡申上ゲマシタ青島ニ於イテハ学校ノ普及、日本語ノ普及ノ方モ或程度完全ニ行ツテ居リマシテ、新民会デモ色々協力下サイマシテ日本語学校ヲ設ケテ居リマス。小学校中学校ニ於キマシテ日本人ノ日語教員ガ多少才這入り下サイマシテ日本語教育ニ当ツテ居ル状態デアリマス。ソノ他、華北連絡部ト同ジヤウニ日本人ガ支那人学生ヲ指導シ、出来ルダケ接〔118〕触スルヤウニヤツテ居リマス。青島ニ於ケル日本語ノ普及状況ハ以上ノヤウデアリマス。

○議長（松尾図書局長） 有難ウゴザイマシタ。興亜院蒙疆連絡部ニ才願ヒ致シマス。

○三十五番（藤野進君） 蒙疆連合自治政府管轄地域ハ面積ニシテ内地ニ比ベテミルト、本州ト九州トソレニ朝鮮ヲ合セタグラヒノ面積デアリマス。住民ノ数ハ五百五十万デアリマス。蒙〔119〕古人三百五十万、漢人約百五十二万、残り四十八万ガ回々教徒デアリマス。サウイフ關係デ民族關係ハ非常ニ複雑デ、地図デオ分リノヤウニ北ハ外蒙ニ接シテ開放サレ、西北ハ甘肅省デ支那ニ続イテ居リ、南ハ河北省ニ接シテ居リマス。斯様ニ地理的ニハ共產主義地区ニ接スル部面ガ多イノデアリマス。蒙古連合自治政府管轄土地ハ地理的ニモ人種的ニモ日本語普及ノ大陸ニ於〔120〕ケル一ツノ基地デアルト感ジテ居リマス。先程関東局ノ方カラ、関東州ガ大陸ニ於ケル日本民族ノ發展ノ基地デアルトアリマシタガ、関東州デ養成サレマシタ多クノ若人ヤ、満洲国デ育テラレタ多クノ青年達ガ蒙古連合自治政府ノ管下ニ来ラレテ、日系、満系、蒙古人一体トナリ大陸ニ於ケル日本民族ノ發展基地トシテ日夜涙グマシイ努力ヲシテ居ルノデアリマス。日本語ノ蒙疆ニ於ケル〔121〕地位ハ各種建設ノ指導語デアリマス。實際ニ学校教育デハ蒙古人ニ対シテハ彼等ノ母語タル蒙古語、漢人ニ対シテハ漢語ト一諸ニ教授シテ居リマス。政府ソノ他各官庁ニ於ケル公文書ニハ日本語ヲ併用シテ居リマス。公報デモ日本語ヲ併用シテ居リマス。日本語ノ指導ノ目標トシテハ日本語ヲ通ジテ日本精神、日本文化ヲ理解セシメルノハ勿論デアリマスガ、蒙疆政〔122〕府ノ狙ヒハ初級小学校四年卒業マデニ日常生活ニ使用出来ルヤウニ、蒙古人ニ対シテハ蒙古人用ノ教科書ヲ作ル準備中

デアリマス。高級学校ノ卒業マデニ新聞ヲ理解シ日本文化ヲ日本語ニ依ツテ享受シ得ルヤウニ指導スル心算デアリマス。学校ニヨリ日本語ヲ正科トシテヤツテ居リマス。初等学校デハ毎週六時間、中等学校デハ毎週六時間ヲ下ルコトヲ得ズトシテアリマス。初等学校ノ数ハ昨年千七百四十六校、教員三千二〔123〕百九十五名、ソノ中日系六名、児童ノ数ハ八万人、就学率ハ八九パーセントシカアリマセン。ソノ中デ日本語ノ先生ノ数ハ最低各校一名ハ居リマス。約二千ノ先生ガ居リマシテ、マダ充分ニ熟達シテ居リマセンガ、熱心ニ毎日授業ヲヤツテ居リマス。尚、中等学校ノ数ハ十五デアリマス。教員ハ百三十三名、日系ガ三十四名デアリマス。コレハ各学校二人乃至三人或ハ五、六名キルトコロガアリマス。中等学校ニ於キマシテ日本〔124〕語ノ教育ハ非常ニ力強ク行ハレテ、日系ノ先生方ガ熱情ヲ以テ真剣ニ現地人ニ心ヲ打込ンデ教育ニ携ハツテ居リマス。尚、特殊学院トシテ蒙疆学院トカ、警察学校、師範職員訓練所ソノ他ノ施設ガアリマスガ、ココニ於テ日本語教育ニ一懸命ニナツテ居リマス。将来ノ計画ト致シマシテ、中等学校ノ入学試験、検定試験ニ日本語ヲ合セ課スル計画ニナツテオリマス。〔125〕唯、唯今ノトコロ困難ノ伴イマスノハ蒙古人ニ対シテ日本語ヲ普及スルノハ、蒙古ニ行カレタ方ハオ判リノコトト思ヒマス。非常ニ土地ノ広イコトデアリマス。留学生後援会ガ出来マシテ日本ニ留学生ヲ一年二百人送りタイトイフテ居リマスガ百人送ルノハ困難デアルカモ知レナイガ、仮ニ半分ノ五十人送ルニシテモ将来日本語ヲ普及スルコトハ

効果ガアルト思ヒマス。又、派遣教員ノ練成ニ注〔126〕意シテ居リマス。即チ蒙地ニ行ツテ蒙古人ト喧嘩ヲヤラナイ程度ノ者ヲ遣ラナケレバナラナイ。コノ人間ナラ間違ヒナイ人ヲ先生デモ顧問デモナク、無給囑託デ蒙地ニ派遣スルコトデ最近六十名バカリ送ツテ居リマス。唯今張家口ノ北ニアル察哈爾盟デ日本語教師ヲ派遣シテクレ、此方ニ派遣シナイカ、我々モ日本語ヲヤリタイト蒙古人ガ言フテ来テ居リマス。ソレデコノ盟ニ対シテ八十名内〔127〕外派遣出来ルノデハナイカト思ツテ居リマス。以上ハ政府デヤツテ居リマス初等教育中等教育ノ施設デアリマス。

蒙疆デモ第三国系ノ学校ガアリマス。一番沢山学校ヲヤツテ居リマスノガ天主教ノ学校デアリマス。学校ノ数ハ三百三十八デ、天主教徒ニ於イテモ日本語ヲ昨年ヨリ課シテ着々ヤツテ居リマス。私ハ去年十月天主教会ノ学校ノ授業ヲ視察ニ参リマシタ。〔128〕白耳義人非常ニ熱心ニヤツテキテ相当効果ヲ挙ゲテ居リマスガ、唯、白耳義人ニ任セテ置カズニ日本人ノ先生ヲ入レタラモツト良イノデナイカト挨拶シテ帰りマシタ。政府モ一懸命ニナツテヤツテ居リマシタガ何ヲ申シテモ教師ガ非常ニ不足シテ居リマス。急速ニ日本語ヲ普及スルタメニ現職者ニ対シテ日語講習会ヲ開キ、教員ノ再訓練ヲヤツテ居リマス。唯今トコロデモ各学校ノ教員約〔129〕三千三百人ハ日本語ノ片言ノ解ラナイモノハナイガ、非常ニ上手ナ人ハナク、立派ニ理解シ話出来ルモノハ甚ダ稀デアリマス。政府ト致シマシテハ急速ニ日本語ヲ普及スルタメニ学校ヲ作ラセテ日語ノ研究ヲヤラ

セルコトニナリマシテ、去年少シヤリマシタガ、今年度カラ本格的ニ乗リダシテ学校ヲ作ツテ居リマス。教科書ハ初級小学校、高級小学校ハ現在政府編纂ノ日本語教科書デアリマス。中学校ハ今〔130〕ゴザイマセン。語言葉デ出来タモノヲ副読本トシテ小学校デ使フコトニナツテ居リマス。

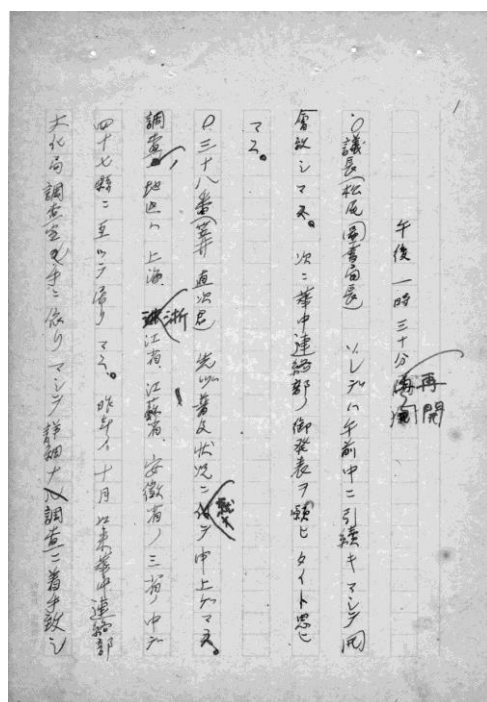
社会教育ニ於ケル日本語教育ノ概略ヲ申上ゲマス。政府ハ語学試験ヲ昨年度カラヤリマシテ優秀ナ者ニハ語学手当ヲヤリ、昇給ノ際、任官ノ際、採用ノ際ニ、語学力ヲ参考ニシテ居リマス。官庁職員ニ対シテハ日語講習会ヲ各方面デヤツテ居リマス。青年訓練所ハ唯今四百二十ヤツテ居リマスガ〔131〕毎週二十時間以上ヤツテ居リマス。青少年団体百十八講習会ヲ展イテ日語訓練ヲヤツテ居リマス。日本語ニ依ツテ指導シテ居リマス。尚、官庁以外デ一般ノ日語講習会ヲ開設シテ居リマス。ソノ他興亜院ノ助成ニヨル学校、政府ノ助成スル学校、日本ノ宗教団体ニ依ツテ設立シテキル日本語学校ハ名前ハドウアラウト日語学校ハ二十八校アリマス。ソノ他ラヂオヲ通ジ、新聞、雑誌、公報機関ヲ通ジテ日語〔132〕普及ニ努メテ居リマス。尚、蒙疆教育会ガゴザキマシテ、蒙疆ノ日本語対策委員会ヲ展イテ居リマス。尚、同会デモ内地及ビ滿洲カラ講師ヲ招イテ年一、二回講習会ヲ展キマス。張家口大同ニモ日本語研究会ガアリマシテ青年学徒ガ日本語ノ研究ヲヤツテ居リマス。尚、国語検定試験ハ教員並ニ学生ニ対シテモ昨年行レマシタ。中等学校ハ学校自体デ日本語検定試験ヲ行ツテ居リマス。一級二級ト発表シテ生徒

〔133〕ニ対シテ日本語ヲ奨励シテ居リマス。ソノ他各学校ニハ日本語ノ検定ヲ開設スル予定デアリマス。然シナガラ蒙疆政府ハ財政的ニ恵マレテ居リマセン。非常ニ貧乏ナ状態デ先生方モ苦勞サレテ居リマス。アラユル困苦ヲ忍ンデ先生方ガ真面目ニ真剣ニ努力ナサツテキルノハ私カニ敬服シテキマス。尚、現地デ開イテキル夜間講習会ノ実例デアリマスガ、去年五月ニ田舎ニ回ツテ日本人モ居ナイヤウナ所ニ参〔134〕リマシテ、ソレハ晩ノ六時頃ト記憶シテ居リマスガ、現地ノ先生ガ日本語ノ授業ヲシテ居リマシタ。生徒ノ数ハ約五十人、小サイ子供ハ十二、三歳カラ年寄ハ五十五、六歳マデ集ツテ一懸命日本語ヲヤツテ居リマシタ。日本人ガ来タトイフノデ紙ヲ配ツテ今カラ習ツタノヲ試験ヲスルカラ書イテ出セトノコトデ十五分位ノ間ニ簡易ナ読本ノ上位ノトコロヲ試験シテソノ結果ヲ見マスト約八割ノ者ハ殆ド八分位マデ日〔135〕本語ヲ理解シテキルノガ分ツテ心ヲ強クシテ帰リマシタ。コレハ日本人ノ余リ行ク所デモナク、興亜院デ助成シテキル訳デモナク、従ツテ私ハ監督ニ行ツタ訳デアリマセンガ、人ノ行カナイ所デモ日本語ヲヤツテキルノデアルカラ、将来三年五年経ツタラ蒙疆ノ日本語モ馬鹿ニシタモノデナイト心ヲ強クスル訳デアリマス。

○議長（松尾図書局長） ソレデハ午前中ノ議事ハコノ程〔136〕度ト致シマシテ、午後一時三十分カラ再開致シマス。日本語教科用図書調査会会長林伯爵ノゴ挨拶ガゴザイマス。

○伯爵林博太郎君 唯今議長ヨリゴ指名ニナリマシタ関係上、私ハ

日本語教科用図書調査会ニ携ハツテキルモノトシテ皆サンニ対シマシテ一言ゴ挨拶ヲ申上ゲタイト思ヒマス。本日ハ日本語ノ普及上カラ朝鮮総督府、台湾総督府ヲ始メ興亜院華北、蒙疆方面マデ
〔137〕 詳シイゴ説明ガアリマシタ。日本語ヲ日本人ガ調査シ且ツ改善シ、学ブコトハ難シイ問題デアリマセウ。議長カラ言ハレマシタヤウニ日本語自体ニ相当混乱ガアリマス。東亜共栄圏並ニ東亜新



秩序建設ノ上ニ文化ヲ發展セシメルノニ最モ必要ナ第一歩ハ日本ヲ教エルコトデ中々困難ト感ズル次第デアリマス。又教エラレル朝鮮人、支那、蒙疆ノ人々ニモ、自分達ノ国語ヲモツテ居リナ
〔138〕 ガラ新シク日本語ヲ学ブノハ相当困難デアルノハ先程来皆サンノオ話デ、我々多クノ参考ニナリマシタ。明日カラ二、三日ノ間ニ段々

具体的ナ方法論等ヲ懇談デ進ンデ行クコトト思ヒマス。私ハ過般調査会デゴ承知ノ如ク日本語ノ教科書ヲ始メテ作ツテ見タノデアリマスガ、ソレニ就キマシテ明日以後ニ於イテゴ批評ヲ戴キタイト思ヒマス。更ニ吾々調査会ガ日語ノ普及ノ上
〔139〕 ヨリ、ヨキ教科書ヲ編纂シテユク上ニ参考トナルコトヲ腹藏ナクゴ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。ソレニ依ツテ興亜院トゴ相談致シマシテ、又文部省ノ方針トモ協調致シマシテ最善ノモノヲ一ツ拵へ、皆サンノゴ参考ニナリゴ使用ニナルモノト致シタイト思ヒマス。本日ハ第一日ト致シマシテ、国語普及ノ方面デ洵ニ有益ナゴ説明ヲ承リマシテ、又明日以後ニモ一層有益ナオ話ヲ伺ヘルト信ズル次第デアリマス。コ
〔140〕 コニ簡単デゴザイマスガ皆サンニゴ挨拶オ札ヲ申上ゲタイト思ヒマス。〔141〕

午後一時三十分再開

○議長（松尾図書局長） ソレデハ午前中ニ引続キマシテ開会致シマス。次ニ華中連絡部ノ御発表ヲ願ヒマス。

○三十八番（笠井直次君） 先ヅ普及状況ニ就テ申上ゲマス。調査ノ地区ハ上海、江蘇省、安徽省ノ三省ノ中デ四十七県ニ亘ツテ居リ

マス。昨年ノ十月以来華中連絡部文化局調査室ノ手ニ依リマシテ詳細ナ調査ニ着手致シ〔001〕マシテ目下コレガ整理中デアリマス。以下申上ゲマス状況中ニ出テ参リマス数字ハ右調査ノ総括的数字デアリマシテ漢口、上海両租界ノハ入ツテ居リマセン。

次ニ普及状況ヲ申上ゲマス前ニ中支ノ政治的特殊性ニ基ク普及上ノ困難性ヲ一言致シタイト存ジマス。例ヘバ小学校デハ維新政府時代ト異ナリマシテ原則トシテ外国語ハ課サナイコトニナツテ居リマス。然シ例外トシテ大都市ノ五六年生ノミニハ課スルコト〔002〕ヲ得トイフ意味ノ法規ヲ設ケテアリマス。又師範学校デハ日本語ハ外国語トシテ選択科目トナツテ居リマシテ生徒ノ希望ニ任セルコトニナツテ居ルノデアリマス。中学校デハ必須科トナツテ居リマスガ、高級中学デハ英語四時間ニ対シテ日本語ハ二時間トナツテ居リマス。又中国人ノ日語教師養成学校機関トシテ維新政府時代ニハ公立ノ教員養成所ガアツタノデアリマスガ、国民政府樹立ト共ニ解消サレタノデアリマス。〔003〕今日デハ公ノ教員養成機関ハナイノデアリマス。ソレカラ日本語ノ教科書編纂ニ関シマシテ直接ニ日本人ガ関与シテ居ラナイノデアリマス。其他種々ノ困難性ガアリマスケレドモ総テ政治問題ニ属シテ居リマスシ又時間モアリマセヌノデ此処デハ申上ゲマセン。

次ニ普及状況ヲ申上ゲマスガ、先ヅ第一ニ小学校カラ大学ニ至ル各級学校ノ日語普及状況ヲ申上ゲマス。小学校デハ現在日語ヲ課シテ居リマス。学校数ハ二百十三校、〔004〕学級数ハ五百五十九学級、

生徒数ハ二万三千七百九名デアリマス。日本語ノ時間数ハ非常ニ不足デアリマシテ一週間ニ少ナイモノガ一時間、多イモノガ六時間平均三時間位ニナツテ居リマス。コレガ教育ニ当リツ、アリマス。日本人教員ハ四十三名、内女子ガ九名デアリマス。コノ四十三名中興亜院華中連絡部カラ派遣シテ居リマス者ハ十三名、中国人ノ日本語教員ハ二百十一名。内三十二名ガ女教員デアリマス。〔005〕

次ニ中等学校ノ中、中学校ハ高級二十校四十八学級、初級中学ガ三十五校二百四十六学級合計生徒数一万四千二百二十八名、此内男女共学ヲヤツテ居リマス関係上女生徒ガ三千三百五十四名加ハツテ居リマス。日本語ヲドレ位ヤツテ居ルカト申シマスト、初級中学デハ一年ガ三時間、二年、三年ガ四時間、高級中学ハ先程申上ゲマシタ通り二時間宛デアリマス。

又、女子中学校ノ中、女子中学ノ高級学校ガ四校、学級数十九〔006〕学級、初級ガ七校デアリマシテ三十三学級アリマス。生徒数合計二千六十人デアリマス。中学校ト女学校¹。ヲ合セマスト男生徒八千七百十四名ニ対シテ女生徒ガ五千四百十四名ノ割合ニナツテ居リマス。

次ニ職業学校ハ七校二十六学級デ生徒数七百八十名、内女生徒二百四十七名、日本語ノ時間数ハ二時間乃至三時間ヤツテ居リマス。

次ニ師範学校デハ現在日本語ヲ課シテ居リマス学校ガ二〔007〕校十学級デアリマス。生徒数三百七十八人、内女生徒一七八、日本語ノ時間数ハ三時間デアリマス。以上中等学校ヲ総テ合計シマスト

七十六校三百八十二学級デ、生徒数一万七千三百四十六人デアリマス。コレニ対シテ日本人ノ日語教員ガ四十名、内女子ガ四人、連絡部カラ派遣シテ居ル日語教員ハ十九名、内女子ガ二名デアリマス。

中国人ノ教員ガ五十二名デ九人ガ女教員ニナツテ居リマス。〔008〕

コノ中等学校カラ小学校ニ対シテ現在用ヒラレテ居リマス教科書ハ十八種類ニ及ンデ居リマス。コレニハ統一ガアリマセン。最モ多数ニ用ヒラレテ居ル教科書ハ維新政府デ作ツタ日本語読本デ、大出正篤氏ノ日本語読本ガ使ハレテ居リマス。目下国民政府教育部デハ初級中学用トシテ日本語読本ヲ編纂中デアリマス。

次ニ大学トシテハ国立中央大学校一校十三学級ニナツテ〔009〕居リマシテ、六百九十四名、内女生徒百三十二名デアリマス。ソノ日本語教員ガ日本人三名、ソノ内一名ガ連絡部カラ派遣シテ居ルモノデアリマス。中国人ガ四名居リマス。以上、各級学校ニ於キマシテ日語教授ニ当リツ、アル日本人ノ教員ガ総計八十六名、内女教員十三名、派遣教員ガ三十三名デ、内女教員ガ二名トナツテ居リマス。コレ等ノ日本人ノ先生方ノ素質学力ハ概ネ良好デアリマス。派遣教員三十三名ハイズレモ相当ニ優秀デアリマス。中国人ノ教〔010〕員ハ総計二百六十七名、内女子ガ四十二名デアリマスガ、素質ハ概ネ不良デアリマス。日本語ノ学力素質ハ概ネ良クアリマセン。尤モ日本ニ留学致シテ居ツテ、日本語ノ学力ノ相当アル者モ三十九名居リマスガ、最モ多イモノハ公私立ノ日語学校出身者デアツテ七十八名デアリマス。ソノ次ニ維新政府教育部ノ教員養成所出身者六十六

名ガ主ナモノデ日本語ノ学力ハイズレモ余リ豊カデハアリマセン。日本語ノ学力ガ十分ニアリ素質ノ〔011〕良イ者ハ官庁ナリ会社ナリニ高給デ雇ハレテ参リマスノデ、学校ノ教員ヲヤツテ居ル者ハ自然学力素質ノ不良ナ者デアリマス。自然待遇モ悪ク少ナイノハ二、三十円平均四十円ソコノデアリマス。尤モ百円、百八十円トイフヤウナモノモ少数ニアリマス。目下コレ等ノ中国人日語教員ノ養成機関設置、再訓練ノ方法、待遇改善問題等ニ就キマシテ支那側政府ト交渉中デアリマス。

ソノ次ニ日本語学校ニ於ケル日語普及状況ヲ申上ゲマス。〔012〕今次事変後、段々ト日本語熱ガ台頭シテ参リマシテ、日本側デモ中国側デモ日本語学校ノ開設ヲ計画スルモノガ最近頓ニ多クナリマシタ。現在日本側デハ二十二校、生徒数四千五百、卒業生千八百四十三名ヲ出シテ居リマス。此ノ内連絡部カラ助成シツ、アル者ガ十校デアリマス。支那側ノ日語学校トイタシマシテハ〔013〕日語専修学校トイフ以下三十数校アリマス。コノ〔013〕ノ日語専修学校ニ対シテハ本年中ニ三千円バカリ助成スル〔013〕予定デアリマス。コノ日語学校ノ教員ノ大体ヲ申シマスト日本人ガ五十六名、内女教師十二名、中国人三十四名、内女教師五名、コノ中国人ノ中三分ノ一ハ素質稍々良好デアリマス。序ヲモチマシテゴ参考ノ為ニ上海漢口両租界内ノ日本語学校ノ状況ヲ申上ゲマス。目下調査中デスガ、判ツテキルモノハ租界中ノ日語学校ガ十四校生徒数千三百、毎週五、六時間宛ヤツテ居リマス。尚、租界内ノ各級学校、詰リ大学カラ小学ニハ

〔014〕至リマス学校ニ於テ日本語ヲ課シテキル学校ガ二十四校、生徒数二千二百十名、教員数四十二名デアリマス。敵性ヲモツタ租界ノコレ等ノ学校ガ如何ナル目的ヲ以テ日本語ヲ普及シツ、アルカ、深く考慮スル必要ガアルト思ツテ居リマス。故ニ単ニ日本語ヲ普及スル普及性ガアルカトイフモノデハナイノデ、極言スレバ親善ヲ伴ハナイ日語教授ハ「スパイ」ノ養成トナルカ判ラヌコトガ出来ルト思フノデアリマス。〔015〕

最後ニ社会一般ノ普及性ニ就テ申上ゲマスガ、コノウチ稍々永続的ナモノト致シマシテハ大上海放送局ノ日本語講座、新申報、申報等ノ新聞社ノ日語講座、大民会留日同学、合作社、病院等ノ各種団体ガ普及施設ヲヤツテ居リマス。是等一時的ノモノト致シテハ各省政府教育所、各健康所ノ教育課、其他会社工場学校等ノ主催ニ依リ日本語ノ講習会、日語弁論会、日語学芸大会等ガ随時ニ開催サレテ居リマス。コレ等ノ場合ト致〔016〕シマシテ連絡部トシテハ特務機関ト連絡シテ主トシテ派遣教員ヲシテ指導ニ当ラレテ居リマス。尚、助成金トカ賞品其他ノ寄贈、係官ノ派遣等ニ依ツテ奨励ヲ致シテ居リマス。甚ダ簡単デアリマスガ。

○議長（松尾図書館長） 有難ウゴザイマシタ。次ニ興亜院厦門連絡部。

○四十一番（中野格郎君） 厦門連絡部ノ管轄範囲ハ厦門トロンプ¹ト厦門ト金門島トボス島²デゴザイマス。コノ〔017〕三ツノ島ニ住ンデ居リマス住民ハ福建族デアリマシテ、人口ハ中国人十万、

日本人ガ約千名、台湾人ガ一万足ラズデゴザキマス。日本語普及ニ関シテ厦門ノ歴史的社会的条件ヲ先キニ簡單ニ申上ゲマス。事変前ニハ厦門島ニ台湾人ガ約五、六万住ンデ居リマシテヨキニシロ悪シキニシロ相当ノ勢力ヲモツテ居リマシタ。コノ台湾人ノ教育機関トシテ台湾総督府ノ共栄書院ガ昨年創立三十五周年ヲ迎ヘル歴史ヲ続ケ〔018〕テ教育ニ従事ヲシテ居リマス。此共栄書院ノ中ニハ事変前中国人ノ入学希望者ヲ厳選シテ收容シテ居リマシタ。支那側教育最高機関トシテ厦門大学ガ事変前マデ続ケラレテ居リマシタガ、コノ大学ノ中ニモ日本語ガ教科ノ一ツニナツテ居ツテ共栄書院ノ院長ガコノ講師ヲヤツテ居ラレタ事実ガゴザキマス以上ガ事変前ニ於ケル厦門ノ歴史的社会的条件デゴザキマス。事変後ノ状況ニ就キマシテハ第一回ノトキニオ話申シ〔019〕マシタコトトハ重複ヲ避ケンテガラオ話ヲ申上ゲヤウト思ツテオリマス。厦門附近ノ特殊性ニ鑑ミ日本語普及ニ関シマシテハ現在厦門特別市政府ガ監督官庁トナツテ日本語ヲ単ナル外国語ノ一科トシテ課スルニトドラズ、東亜ノ標準共通語トナサザルベカラザルコトヲ目標トシテ居リマス。コノ目標方針ニ基イテ市政府――以下厦門特別市政府ヲ市政府ト略称致シマスガ、市政府ハ教育局ニ台湾人ノ監督ヲ置イテ各級ノ学校ニ於テハ正科トシテ課シ就学〔020〕セザル青少年成人ニ対シテハ日語講習所ニ於テ夜間教授ヲ実施シテ居リマス。コノ厦門市政府ノ日本語普及ニ関シテハ厦門連絡部ハ物心両面ニ於テアラユル総力ト助力トヲナシ内面指導ヲ行ツテ居リマス。

次ニ日本語普及状況ヲ学校教育ニヨルモノト学校教育ニヨラザルモノトニ分ケテゴ説明申上ゲマス。学校教育ニヨル日本語普及、日支市政府設立ニカカル学校ニ於テハ如何ニシテ行ツテキルカ申上ゲマス。ト、毎週時間数〔021〕ハ中学校ニ於テハ初級高級共ニ五時間、小学校ニ於テハ初級ノ一年、二年ハ四時間、初級三年四年高級ハ五時間ヲ算シテ居リマス。コレハ小学校ニ於ケル児童ノ学科負担能力授業能力ヲ考ヘマシテ他ノ学科ニ於テ無理ノナイヤウニ調節致シテ居リマス。日本語教員ハ台湾人ヲ以テ充當シテ居リマス。現在中学校小学校ニ働イテ居リマス教員ハ全部デ二百十四名デアリマスガ、ソノ内五十四名ガ台湾人デアリ、五十四名ノ内三十四名〔022〕ガ日本語教員デアリマス。教員ハ多数採用致ス關係上、素質ノ向上ヲ図ル必要ニ迫ラレテ居リマシテ毎月一回教授法ノ研究会ヲ実施致シテ居リマス。又毎年一回台湾中支其他カラ学者實際家ヲ招聘シテ講習会ヲ開催致シテ居リマス。コノ台湾人教員中主トシテ日本語教員ト中国人ノ教員トノ關係ニ就テ实例ヲ一ツ申上ゲマス。市政府ハ学校一切鞭ヲ使ハナイ、殴ラナイ方針ヲ執ツテ居リマス。或時――昨年ノコトデスガ、台湾人ノ〔023〕日本語教員ガ教授ニ熱心ナ余リ中国人ノ子弟ヲ毆ツタノデアリマス。此ノ問題ヲ解決致シマストキニ、本人ニハ洵ニ氣ノ毒デスガ、日本語教員ノ立場使命ニ鑑ミテ退職シテ貰ツタコトガゴザイマス。偶ニシカ起ラナイ問題デアリマスガ、表面ニ現レヌ両国教員ノ摩擦軋轢ヲ一掃シ、更ニ台湾人教員ノ指導ニ任ジ、更ニ中国小学校中学校ノ学校経営日本語教授ノ進展

ヲ図リマス為ニ今年ノ〔024〕一月カラ興亜院派遣日本人教員ヲ五名学校ニハイチスルコトニナツテ居リマス。生徒ノ数ニ関シテハ後程申シマスガ、生徒ノ日本語熱ヲ盛ニシ奨励スル為ニ適時学芸会ヲ開催致シテ居リマス。又学芸会ヲ利用シテ日支児童ノ交驩会ヲ開催致シテ居リマス。コノ实例ヲ一ツ申上ゲマス。市政府ノ教育局長ハ中国人デゴザイマス。最近日本語ハ聴クコダケハドウニカ分ルト称シテ居リマスガ、ソレモド〔025〕ノ位ノ程度カハツキリ判リマセン。昨年始メノ学芸会ノトキ、採点シテ優秀ナ者ニハ賞品ヲ与ヘタノデアリマスガ、教育局長自身ガ採点者ノ長トナツテ居ラレタノデアリマス。教育局長ノ採点ノ点ガ吾々日本人ノ採点ト殆ド同ジデアリマシタ。教育局長ニ聞イテ見マスト自分ハ言葉其モノハ能ク分ラナイケレドモ児童ガ話ス身振り態度ニ依ツテコノ児童ハドノ位熟シテキルカ想像デ書イタノダト申シ〔026〕テ居リマス。マア教育局長ハ割合熱心ニ日本語ノ教授ニハ骨ヲ折ツテ居ラレマス。教科書ハ中等学校ニ於テハ維新政府教育部編纂ニ係ル日本語教科書ヲ使ツテ居リマス。小学校及ビ日語講習所デハ台湾総督府編纂ニ係ル「日本語教本」、臨時政府教育部編審会発行ニ係ル「正則日本語読本」及ビ同会ノ最近ノ発行ニ係ル「小学校日本語読本」ヲ使ツテ居リマス。以上ハ市政府設立ニ係ル学校教育局ノ日本語普及ノ状況デアリハ

〔027〕マス。

次ニ共栄^{キョウエイ}14会設立ニ係カル共栄書院^{キョウエイ}ノ状況ヲ簡單ニ申上ゲマス。昨年十月、日語講習所デ小学校ヲ卒業シタ者ニ対シマシテ高度ノ日

本語教授ヲナス要望ガアリマシテ共栄会ガ日本語ヲ教授スル目的トシテ兼ネテ人格ノ陶冶及ビ興亜精神ノ涵養ニ努メル目的トシテ共栄学院ヲ設立致シマシタ。ソノ学校ハ学科ヲ分チマシテ本科ト特別科トニ致シマス。修学年限ハ本科ハ二箇年特別科ハ〔028〕一箇年デゴザキマス。人数ハ両方トモ五十名ヲ定員ト致シテ居リマス。本科生ハ今申上ゲタ学校ヲ卒業シタ者ヲ收容スルノデアツテ、特別科ハ廈門市政府カラ学校ノ教員、民間ノ会社ニソノ長トナツテキル方ガ推薦ヲシタ者ヲ收容シテ初歩カラ日本語ヲ教授致シテ居リマス。

次ニ学校教育ニ依ラザル日本語普及ノ状況ヲ申上ゲマス。日語講習所ハ先程申上ゲタ通りデアリマスガ、毎週ノ教〔029〕授時間ハ十時間程度デ日本語ヲ主トシテ修身、音楽ヲ授ケテ四箇月ヲ以テ一期トナシ三期ヲ以テ完了スルコトニ致シテ居リマス。厦門□□全体ヲ通ジテ「ラヂオ」ニ依ル日本語普及ヲヤツテ居リマス。日本語講座ヲ設ケル外話シ方・童話・物語・遊戯・唱歌等ヲ放送致シテ居リマス。

次ニ官庁職員対スル日本語普及施設ヲ申上ゲマス。市政府ノ職員中選抜サレタ者ガ共栄学院ニ入学スルコ〔030〕トヲ前ニ申シマシタ。其他市政府内ニ日語講習所ヲ設ケテ居リマス。学校教員ニ対シテハ各学校ニ於テ日本語教員ノ指導科ニ日本語研究会ヲ実施致シテ居リマス。官庁、各学校、会社等ニ於テハ日本語習得者ニ対シテハデキルダケノ恩典ヲ与ヘルヤウニ致シテ居リマス。其他新聞雑誌等ヲ利用シテ日語ヲ普及セシメテ居リマス。又市政府ノ公文書ニハ日語

ヲ併用シテキル状態デアリマス。〔031〕

最後ニ現在厦門ノ日本語普及程度ヲ申上ゲマス。約十万人ノ中国人中、日本語ヲ既ニ事変後学習シタ者ハ合計一万余人バカリニナツテ居リマス。百四十一^五。パアセント強ニナツテ居リマス。ソノ内中学校ノ生徒ノ現在数ハ細カイ数字ハ申上ゲルコトハヤメマス。カウイフ状況デスカラ一般ノ商店ニ於テ日本人ガ用ヲ達スルトキニハ少シモ不便ヲ感ジナイ状態ニナツテ居リマス。所謂知識層デハ文芸協会ガゴザイマシテ、和劇ヲ適時公開致〔032〕シテ文化工作ヲヤツテ居リマス。次回ノ和劇ニハ日本語ヲ使用シテヤラウト云フ意氣グミデゴザキマス。コノ中国人ノ所謂知識層ト話ヲ致シマストキニハ昨年ノ半頃迄ハ英語ヲ仲介トシテ主トシテ話サナケレバ——話ス方ガ便利デアツタ場合ガ多カッタノデアリマスガ、最近中国人ハ吾々ニ対シテ英語ヲ使用シタガラナイノデ勉メテ日本語ヲ以テ話サウトシテ居リマス。又コレ等ノ中国人ハ新聞等ニ見エマス日本ノ新シイ言葉「八紘一宇」トカ「東亜新〔033〕秩序」トカ「東亜聯盟」「新体制」「東亜共同体」「共栄圏」——サウイフ言葉ニ対シテ極メテ敏感ニ考ヘテ日本語其儘デ話ヲシテキル状態デアリマス。市政府ニハ警察官ヲ毎年六箇月間台湾ニ留学セシメテ教育ヲ受ケサシテキルノデアリマスガ、コレ等ノ警察官ハ厦門ニ帰リマシテモ日本語ニ依ツテ簡單ナ命令ヲ致シテキル。命令ハ日本語ニ依ツテヤツテキル状況デアリマス。コノ一月ニ更ニ現在小学校教員ヲ十名台湾ニ派遣致シテ師〔034〕範学校ニ於テ短期講習会ヲ実施致シテキルノデアリマ

スガ、日本語時間ヲ多数設ケテ戴イテ厦門ニ帰り少シデモ日本語普及ニ役立つセルヤウニ致シテ居リマス。以上簡單デゴザイマスガ。

○議長（松尾図書局長） 次ニ南洋庁ニ才願ヒ致シマス。

○二十六番（鎌田専之助君） 今朝十時ニ漸ク横浜ニ入港シマシタノデ遅刻ノ已ムヲ得ナイ状況デアリマシテ、悪シカラズゴ諒承ヲ願ヒマス。我ガ南洋群島ガゴ承知ノ通り大正〔035〕三年九月海軍ニ依ツテ占領サレ以来当時ハ海軍軍人ノ方ノゴ心配ニ依リマシテ寺子屋式ノ学校ガ始メラレタノガ抑々南洋島ニ於ケル教育ノ始メデアツタノデアリマス。爾来二十七年今日デハ島民ノ学校デアル小学校¹⁶ガ二十六校、移住民教育子弟ヲ教育スル小学校二十九校、合セテ五十五校アル状態ニアリマス。本会ニ関係ノアルコトハ主トシテ公学校デアルト思ヒマスガ故ニ聊カソノ現状ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス。〔036〕二十六校ノ公学校ガアリマシテ、今年度ニハ学級数ガ六十三、児童総数ガ三千六百名近クニナツテ居リマス。国語ノ教授時数ハ略々小学校ノ程度ニ準ジテ一週ニツキ本科ガ一年生ハ十二時間、二年生ガ十二時間、三年生ガ矢張り十二時間、補習科ハ一年ト二年トアツテイズレモ十時間宛ノ教授時数ヲモツテ居リマス。教科書ハ南洋群島向キニ特ニ南洋庁ニ於テ編纂致シタノヲ使ツテ居リマス¹⁷ガ、相手ガ島民ノ子供デアリマスガ故ニ、勿論ソノ間稍々程度ノ〔037〕低イ所ガ選バレテキル訳デアリマス。本科三年生ヲ卒業シタトキノ国語ノ力ハ稍々尋常科三年生ノ前期ノ修了時代¹⁸、補習科ヲ卒業致シマシタトキノ尋常科四年生ヲ修了シタ者ト大体同様

ノ力ガあアラウト云フコトニナツテ居リマス。卒業生ノ現状ハ本科ノ卒業生ハコノ十五年度始メニ——十四年度末ニ一万三千五百七十二名、補習科ノ卒業生ガ四千六百四十八名アル訳デアリマス。島民ノ現在ノ総数ハ約五万五千五百〔038〕人デアリマスカラ、コレニ対スルバアセントハ本科ノ卒業生ハ二六・四バアセント位アルコトニナツテ居リマス。更ニ現在ノ島学校¹⁸ノ在学児童数約三千六百名ノ内、本科一年生ガ本科三年ヲ卒業シタ当時ノ十七年度末ニナリマシタラ島民ノ総人口ニ対スル歩合ハ三〇バアセントニナツテ略々三人ノ中一人ノ本科卒業生ガアルコトニナル訳デアリマス。従ツテ各戸略々一人宛ノ日本語ヲ大体臚氣ナガラモ了解シ得ル者ガアルコトニナリマス。〔039〕以上ガ教育ノ制度ノ上ニ現ハレタ概数デゴザイマスガ、然ラバ実情ハドウカト申シマスト、今カラ十年余前迄ハ内地カラ移住シタ者ハ先ヅ島民語ヲ知ラナケレバ生活ガ円滑ヲ欠ク場合ガ多イノデアリマシタガ、最近デハ顛倒致シテ島民ガ日本語ヲ知ラナクテハ、生活ガ困難ヲ来ス状態ニマデ進ンデキルヤウデアリマス。従ツテ島民ノ日本語ノ研究熱——研究ト云フ言葉ハチト大袈裟デアリマスガ、向学心ガ段々強クナツテ参ツテ居リ〔040〕マス。本科三年ヲ卒業シタ實際ノ子供ノ日常ノ状態ハ矢張り彼等ハ彼等程度ノ生活ニハ略々支障ナイマデニ出来テキルト思ヒマス。中ニハ内地人ノ割合ニ少イ島ガアリマスノデ、サウイフ島デハ勢ヒ日本人ニ接触スル機会ガ少イ関係上段々忘れルコトガアリマスガ、然ラザル島デアリマシタナラバマア段々上達シテ私共ガイズレノ島ニ行ツテ

モ話ヲスルノニ不便ヲ感ズルコトガナイヤウニナリマス。〔041〕卒業生ノ指導機関ト致シマシテハ国語練習所ガ本年度ノ初メカラ設ケラレマシテ老幼——年寄ハ男モ女モ共ニ進ンデ夜学式ニ最寄ノ学校ニ集ツテ一週間一回二時間乃至三時間宛色々ナ日本語ヲ公学校ノ教員カラ聴イテ帰ル状態ニナツテ居リマス。

其他学校卒業生ニ対シテハ畏クモ御聖旨ニ依リマシテ恩賜金ヲ仰イデ居リマス。恩賜財団教学会ガアリマシテ、二千元ノ賜金ヲ頂戴致シテ居リマ〔042〕スガ、南洋庁デハ更ニ年々二千元ノ補助金ヲ出シマシテ年二回乃至三回「日ノ光」ト云フパンフレット式ノ、国語ノ補習用ニナルモノヲ卒業生ニ頒布シテ読マシメテキル訳デアリマス。或ハ皆サンノ中ニハ南洋ノ島民ハマダ所謂土人ノ域ヲ脱シナイデハナイカト才考ヘニナラレテキル方ガアリマシタナラバ、ソレハ今日デハ訂正シテ頂イテモ差支ナイト思ヒマス。

一体日本語ヲ了解シテ彼等ノ思想ハドウイフ風ニ向上〔043〕シテ来タカト云フト、ゴ承知ノ通り事変後国防献金ガ段々多クナツテ来タコトヤ或ハ最近官幣大社南洋神社ノ御造営工事ニ対スル島民ノ進ンデ勤勞奉仕ヲ申出ルコトニナツタノハ臚氣ナガラモ日本精神ノ何モノカヲ了解シ来ツタ證據ダト考ヘラレマス。

以上ハ極ク簡單デアリマスガ現状ヲ申上ゲマシタガ、偕テ困難ト思フ所ヲ申上ゲマスナラバ、私ハ果シテ此ノ席上デ申上ゲテドウカト思ヒマスガ、独逸時代以来教会〔044〕ガ相当島民ノ勢力ヲモツテキルコトデアリマス。スペイン人ノカトリック教会並ビニ新教ガ

アリマシテ、イズレノ島ニモ教会堂ガ建テラレ時々召集ヲ受ケテハ讚美歌ヲ歌ヒ聖書ヲ読マサレテキルヤウデアリマスガ、其ノ言葉ハ何ヲ使ツテキルカト云フト矢張り島民ヲヤツテキルヤウデアリマス。私共ヨリモ語学ノ上達ノ早イ外人ハ先ヅ以テ島語ヲ研究シ憶エテ其ノ島語デ呼掛ケルノデアリマスカラ、現在デハ相当教会ノ力ガ島民ノ指導ノ下ニ影響ヲ与ヘテ居〔045〕ルモノト私ハ見テ居リマス。従ツテ今次ノヤウナ現在ノ状態ノ場合ニハ防諜機関ノ喧シイ今日、私ノ一個ノ考ヘト致シテハ宣教師ハナルベク早く日本人ノ宣教師ヲ使ツテ頂キタイト心窃カニ考ヘテ居リマス。ソレダケ申上ゲテ其ノ間ノゴ消息ヲゴ想像ゴ推察願ヒタイト思ヒマス。

ソレカラ補習科ヲ卒業致シマシタ後ニ木工ノ技術ヲ修練サセル目的デ私ノ学校ニ施設致シテ木工徒弟養成所〔046〕イフモノガ一校ダケ設ケラレテアリマス。島学校時代ノ秀才トモ目サレルベキ者ヲ十名、十五乃至十八名募集シテ二箇年間木工ノ技術ヲ修練サセ傍ラ国語ニ依ツテ国民思想ノ徹底ヲ図ツテ居リマス。彼ラハ矢張り群島人カラ選抜サレタダケデアツテ、私共ノ見ルトコロ相当優秀ナ者ガアリ、内地ノ醇朴ナ農村ノ青年ト余リ変リガナイデハナイカト思ハレルモノガ入ツテ居リマス。彼等ニハ一生懸命国語教導シテキル訳デアリマスガ、〔047〕其ノ点デハ日本語普及ノ上カラ考ヘテ極ク優秀ナ成績ヲ挙ゲテキルモノト申上ゲテモ過言デハナカラウト存ジマス。

以上ハ公学校ニ関スル国語デアリマスガ、更ニ小学校ニ就テ一言

申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、群島ニキル日本人ノ中ニハ七割位ハ
 沖繩県人デアリマス。沖繩県人ハ日常標準語ヲ使ツテキル方ガ洵ニ
 寥々タルモノノヤウニ見受ケラレマス。私ハ小学校ニハ實際ノ経ハ
 [048] 験ヲモツテ居リマセンガ、小学校ノ先生ニ聞イテ見マスト僕
 等ノ家庭ノ子供ハ学校ニ居ツテモ国語ヲ円滑ニ使用シ得ル者ガ半数
 ソコノデアリマス。家ニ帰ツテハ沖繩語デ用ヲ弁ジテキル状態ダ
 サウデアリマスカラ島民ノ教育以上ニ相当重要ナ問題デハナカラウ
 カト存ジマス。ベルガ鳴リマシタカラコレデ切上ゲルコトニ致シマ
 ス。

○議長（松尾図書局長） 今ノベルハ電話ノデス。 [049]

○二十六番（鎌田専之助君） （続）私ノ学校デハ——私ノ学校バ
 カリデハゴザイマセンガ島民ノ教育ヲスル国語学校デハ学校ノ生徒
 ハ決シテ土語ヲ使ツテハナラヌ。生徒ハ必ズ国語ヲ使ハナケレバイ
 カヌ。相手ガ国語ヲ知ラナクテモナルダケ国語デ用ヲ弁ズルヤウニ
 シナケレバナラヌ。コレニ反シタ者ハ或ル罰則ヲ加ヘルコトニシテ
 居リマスガ、其ノ成績ハ優秀デアリマシテ、本科一年生ニ入ツテ来
 ル子供デモ此頃ハ臚氣ナガラモ片語交リニ「オ早ウゴザイマス」
 今日 [050] ハ「左様ナラ」ト云フ言葉ヲ使ヒ得ルノデアリマス。
 マシテ、二年以上ニナツタラ一通リノ彼ラガ日常接スルデアラウト
 云フ内地人ニ対シテハ少シモ心配ハアリマセン。ソレナノニ沖繩県
 人ノ子供サンガ動モスレバ標準語ヲ知ラヌノハ洵ニ反省シナケレバ
 ナラヌト考ヘマス。コレヲモチマシテ簡単デアリマスガ状況ヲ申上

ゲテ置キマス。

○議長（松尾図書局長） 以上デ一通リオ済ミニナツタヤウ [051]
 「デアリマスガ、現地ノゴ報告デマダゴ発表ニナラナイ方デ、シタ
 イト思フ方ハ此際ゴ発表ヲ頂キマスト仕合デゴザイマス——他ニゴ
 発表ガナイヤウデアリマスカラ最後ノ「質疑応答」ヲオ願ヒ致シタ
 イト思ヒマス。今朝程カラノゴ報告ニ就テ色々質問等ガオアリニ
 ナリマスレバ率直ニオ尋ネ頂キマシテソレノ答ヲ願ヒタイト思
 ヒマス。——ゴ質問モナイヤウデアリマスカラ今日ノ議事ハ此ノ程
 度ニシテ散会致シタイト思ヒマス。明日ハ又午前九時カラ [052]
 此処デ開会致シマスカラドウゾ御出席ヲ頂キタウゴザイマス。

午後二時四十分散会 [053]

- 1 表紙の日付、標題には、抹消線が引かれている。
- 2 松尾長造（一八九一〜一九六三）。
- 3 橋田邦彦（一八八二〜一九四五）、第五十六代文部大臣。
- 4 【資料1】では、華北政務委員会、中華民国国民政府、蒙古聯合自治政府の三者に対しては、依頼文書を発信していない。
- 5 【資料3】に記載されている。
- 6 【資料3】に記載されている。
- 7 「第二議題」は不詳。
- 8 「プリント」は存在が確認できない。
- 9 三文字分欠字。
- 10 ここでの「女学校」は前出の「女子中学校」と同じ。
- 11 「バンク」は地名であると思われるがどこを指すのか不明。

- ^{1 2} 「トロンプ」は鼓浪嶼(コロンス島)か。以下、廈門が重複する
など、地名の速記が乱れている。
- ^{1 3} 「ボス島」はどこを指すか不明。馬祖とも考えられるが地理的
に離れている。
- ^{1 4} 左側に朱筆で「共栄」とある。以下同様。
- ^{1 5} 正しくは「十四パアセント」。原稿では、黒インクで「十四」
と書かれたのを朱筆で抹消し「百四十」と訂正されている。
- ^{1 6} 「小学校」は「公学校」の間違いか。
- ^{1 7} 南洋庁編纂『公学校国語読本』本科用六巻、補習科用四巻。関
正昭(一九九七)によると、同書は梅津隼人が中心となった第
四次編纂本で、一九三七年に刊行された。
- ^{1 8} 「島学校」は「公学校」の間違いか。